SONY®

4-400-698-**04**(1)

パーソナル
オーディオシステム

取扱説明書・保証書

ZS-R110CP
ZS-R100CP

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

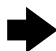
故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら





❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


プラグをコンセントから抜く


指示

機器を本箱や組み立て式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。
火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使用しないでください。
本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。
本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。
付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

機銘板は本機の底面に表示されています。

ご注意

この装置に対し光学機器を使用すると、目の危険を増やすことになります。
レーザーの仕様

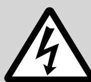
- 放射時間：連続
- レーザー出力：44.6 μW 未満

この出力値は、7mm の開口部にて光学ピックアップブロックの対物レンズ面より 200mm の距離で測定したものです。

目次

その他



火災　感電

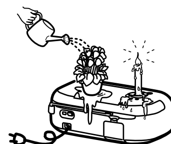
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

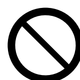


本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニー相談窓口にご依頼ください。



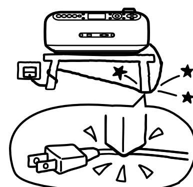
電源コードを傷つけない



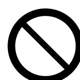
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない



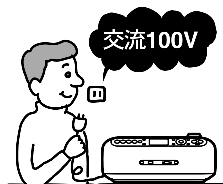
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



海外では使用しない



交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

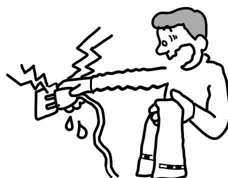


感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。



ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

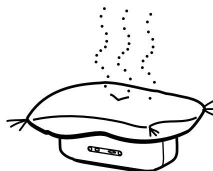


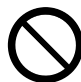


ぬれ手禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。





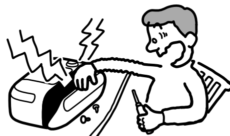
禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

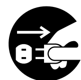




分解禁止

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。
長期間の外出·旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

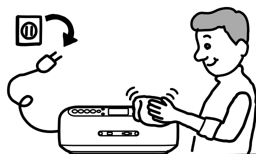


プラグをコンセントから抜く



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

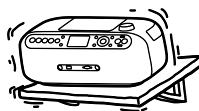


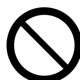


プラグをコンセントから抜く

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。





禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

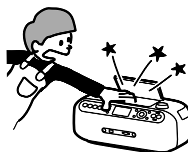




禁止

幼児の手の届かない場所に置く

CDぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。





禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。
通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。



指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  – 時計
  – クレジットカードなどの磁気カード
  – カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特にキッチンでの使用や、雨や雪、湿度の多い場所での使用はご注意ください。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- CD-R/CD-RWについて
  本機は、CD-DAフォーマット*1で記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

  *1 CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。
- 再生可能なCDについて
  本機では以下のCDが再生できます。
  – 音楽用CD（CD-DA）
  – CD-DA/MP3/WMA（CD-R/CD-RW）
- 著作権保護技術付き音楽ディスクについて
  本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠してないものもあり、本機で再生できない場合があります。
- DualDiscについて
  DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

CDの取り扱いかた

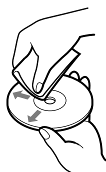
- 文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

本機のお手入れのしかた

- 本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

SDメモリーカード(以下「SDカード」といいます。)の取り扱いかた

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらしたりしないでください。
- 以下のような場所での使用や保存はしないでください。
  - 炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中/直射日光のあたる場所/熱器具の近く
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

設置時のご注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本機を設置すると、変色、染みなどが残ることがあります。
- 本機を本箱や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

SDカード/USB機器を使用する上での注意書

本機で使用できるSDカードについて

本機で使用できるSDカードは次のとおりです。

- SDカード1)3)
- SDHCカード2)3)

1) 本機で動作確認されているSDカードは、2GBまでです。
2) 本機で動作確認されているSDHCカードは、32GBまでです。
3) すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。

SDカード

カードの種類	対応
SDカード	○
SDHCカード	○
SDXCカード	×
microSDカード (SD変換アダプター使用時)	○
microSDHCカード (SD変換アダプター使用時)	○

SDカードについてのご注意

- SDカードを本機のSDカードスロットに挿入するときは、正しい向きで挿入してください。
- SDカードを挿入するときは、無理に押し込まないでください。無理に押し込むと、SDカードが破損したり、本機が故障するおそれがあります。
- SDカードを携帯するときは、SDカードに付属のケースに入れて携帯してください。また、SDカードを使用しないときは、ケースに入れて大切に保管してください。
- SDカードの端子部に手や金属で触れないでください。

本機で使用できるUSB機器について

本機で使用できるUSB機器は次のとおりです。

- “ウォークマン”
- ICレコーダー
- POCKET BIT

対応機種について詳しくは「本機で使用できる機器」(74ページ)をご覧ください。

次のページへつづく

USB機器についてのご注意

- 本機との接続にUSBケーブルを必要とする場合は、USB機器に付属のUSBケーブルをご利用ください。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。
- USBハブを介して本機とUSB機器を接続しないでください。
- USBケーブルで接続する場合、端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部が破損したり、本機が故障するおそれがあります。

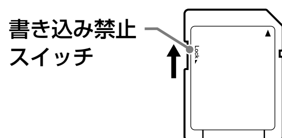
録音可能時間の目安

録音フォーマットがMP3、ビットレートが128 kbps（固定）の場合、SDカードおよびUSB機器への録音可能時間は、次のとおりです。

容量	録音可能時間
2GB	約33時間
4GB	約66時間
8GB	約132時間
16GB	約264時間
32GB	約528時間

使用する上での共通のご注意

- 録音／再生中は、SDカード/USB機器を本機からはずさないでください。データが破損するおそれがあります。
  SDカード/USB機器のデータの破損、データの損失に対して、当社は一切の責任を負いません。
- SDカード/USB機器上の大切なデータはバックアップすることをおすすめします。
- SDカード/USB機器によっては、「読み込み中」のメッセージが表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 本機はメモリースティック デュオ™、メモリースティック マイクロ™（M2™）に対応していません。
- 本機はパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのSDカード、誤消去防止、書込み禁止のSDカードは、録音できません。
  書き込み禁止を解除する場合、SDカード上のスイッチを矢印方向へスライドさせ、解除してください。

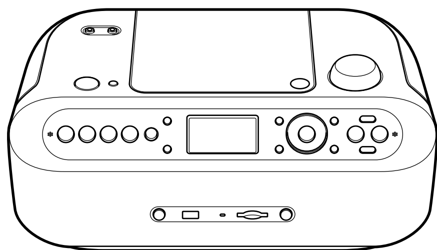


- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中にSDカード/USB機器を取り出したり、機器の電源を切った場合。
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。
- お客様の記録したデータの破損（消滅）については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 当社は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェアのすべてを保証するものではありません。作成したファイルが本機での再生に適さない場合、ノイズが再生される、再生が途切れる、まったく再生されないなど、不具合が発生するおそれがあります。
- 本機のトラック数、フォルダ数、ファイル数が、以下のケースに該当する場合は、再生できません。本機またはコンピュータなどを使って不要なフォルダやファイルを削除してください。また、不要なフォルダやファイルは保存しないでください。
  – フォルダ数が255を超えた場合。
  – 1フォルダ当たりのファイル数が999を超えた場合。
  – ファイル総数が5,000を超えた場合。
  上記の上限は、SDカード/USB機器のファイル構造の状態によっても異なります。
- SDカード/USB機器のフォルダ／ファイル数は次の手順で確認できます。
  1 メニューボタンを押す。
  2 「SD」または「USB」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
  3 SDの場合「SD情報」に、USBの場合「USB情報」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

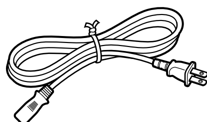
付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

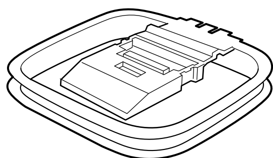
●本体（1）



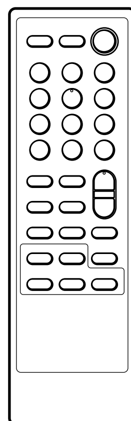
●電源コード（1）



●AMループアンテナ（1）



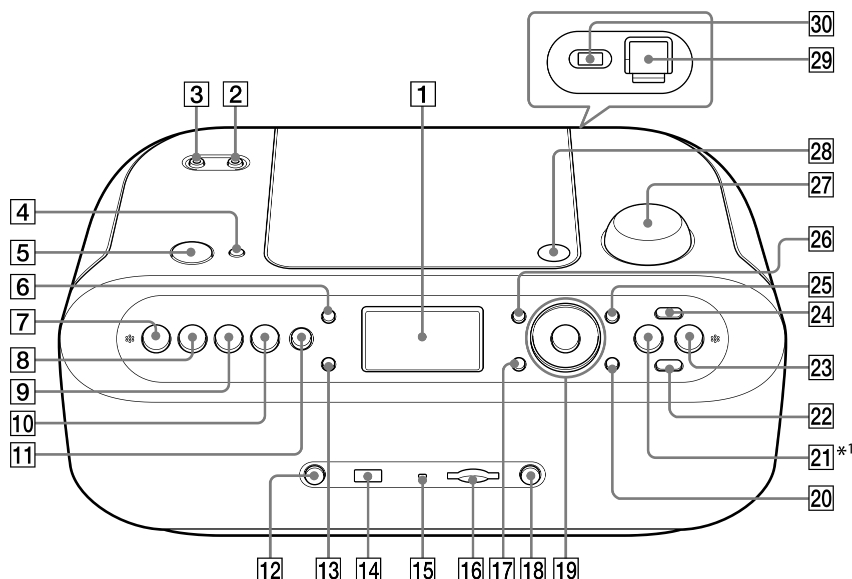
●リモコン（1）（ZS-R110CPのみ）



●単4 形乾電池（2 本）（リモコン用）（ZS-R110CPのみ）
●取扱説明書・保証書（1）
●周波数一覧表（1）
●ソニーご相談窓口のご案内（1）

各部のなまえ

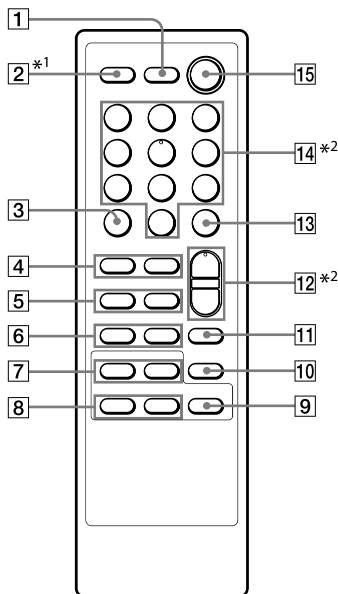
本体



1 表示窓
2 音声入力端子
3 ☊(ヘッドホン)端子
4 おやすみタイマーボタン
5 電源ボタン
6 日時ボタン
7 CDボタン
8 SD/USBボタン
9 ラジオFM/AMボタン
10 音声入力･内蔵マイクボタン(ZS-R110CP)
音声入力ボタン(ZS-R100CP)
11 予約ボタン
12 USB録音ボタン
13 ラジオノイズカットボタン
14 USBポート
15 アクセスランプ
16 SDカードスロット
17 戻るボタン
18 SD録音ボタン
19 メニュー操作ボタン
プリセット－・⏮ボタン
プリセット＋・⏭ボタン
🗀/選局＋・▲ボタン
🗀/選局－・▼ボタン
決定ボタン
20 メニューボタン
21 ▶II(再生/一時停止)ボタン*1
22 リピートボタン
23 ■(停止)ボタン
24 モードボタン
25 削除ボタン
26 表示ボタン
27 音量つまみ
28 押す・開／閉
29 AMラジオ用ループアンテナ接続端子
30 内蔵／外部 AMアンテナ切換スイッチ

*1 凸点(突起)がついています。操作の目印として
お使いください。

リモコン（ZS-R110CPのみ）



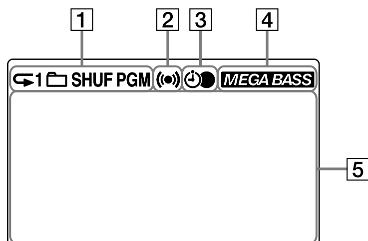
1 MEGA BASSボタン
2 ファンクションボタン*1
3 クリアボタン
4 選局＋/－ボタン
5 フォルダ＋/－ボタン
6 プリセット＋/－ボタン
7 イージーサーチすすむ/
イージーサーチもどるボタン
8 スピードコントロール＋/－ボタン
9 リセットボタン
10 ■（停止）ボタン
11 ►II（再生/一時停止）ボタン
12 音量＋/－ボタン*2
13 決定ボタン
14 数字ボタン*2
15 電源ボタン

*1: ボタンを押すたびに次の順で切り換ります。

CD → SD → USB → FM → AM → 内蔵マイク → 音声入力

*2: 音量+ボタン、数字ボタン5には、凸点がついています。操作の目印として、お使いください。

表示画面



1 再生モード表示
現在の再生モードのアイコンが表示されます。

2 ((●))(アラーム)表示

3 (録音予約)表示

4 MEGA BASS(MEGA BASS)表示

5 テキスト情報表示
曲名やアルバム名、ファンクション名などのテキスト情報や、進捗を表すプログレスバーなどを表示します。

電源を準備する

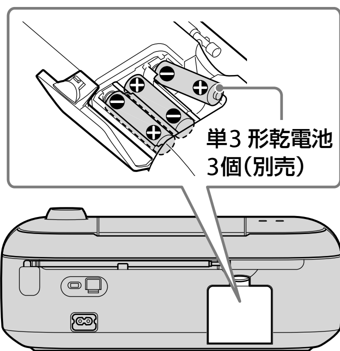
時計用乾電池を入れる

時計用電池を入れておけば、停電時または電源コードを接続していない場合でも、現在時刻を保つことができます。
電源コードを接続していない場合、時計は表示されません。

時計用乾電池のみでは、本機は動作しません。
必ず電源コードを接続してお使いください。

時計用乾電池を入れるときは

電池ぶたを開き、別売の単3 形乾電池(アルカリ電池またはマンガン電池)3 本を、⊖極側から入れる。



時計用乾電池を取り出すときは

電池ぶたを開き、乾電池を取り出す。

時計用乾電池の残量を確認するには

1 メニューボタンを押す。
2 「共通」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「時計用電池残量」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
「新しい電池を入れてください」の表示された場合、すべての電池を交換してください。

ご注意

電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

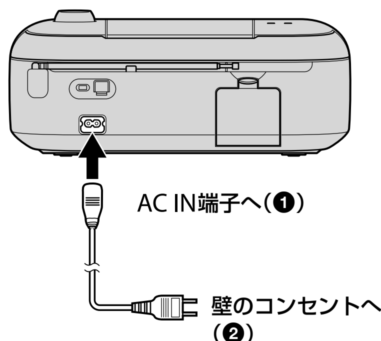
- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 長い間本機を使わないときは、電池を取り出してください。

ちょっと一言

- 電池の交換時期は約6か月です。使いきった電池は取りはずし、3個とも新しい電池に交換してください。
- 本機では市販のニッケル水素電池などの充電池は使用できません。
- 乾電池を出し入れするときは、次のことを必ず守ってください。
  傷つくおそれがあります。
  – CDを取り出す。
  – SDカードまたはUSB機器を抜く。
  – FM用ロッドアンテナを元の位置に戻す。
  – AMループアンテナを取りはずす。
- 乾電池を交換する場合、設定済みの時刻はお買い上げ時の状態になります。

電源コードを接続する

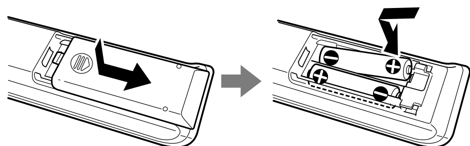
本機のAC IN端子へ差し込んだあと(❶)、壁のコンセントへ差し込んでください(❷)。



準備する

リモコンに乾電池を入れる（ZS-R110CPのみ）

⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単4 形乾電池2 本（付属）を入れてください。



ご注意

電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できないことがあります。

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。操作できる距離が短くなってきたら、2個とも新しい電池に交換してください。

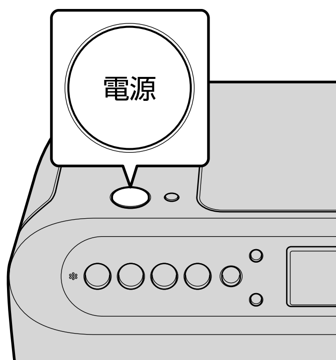
初期設定をする

お買い上げのあと、初めて電源を入れると、ラジオの地域設定モードになります。
画面の表示に従って地域を設定すると、地域に応じた放送局が登録されます。

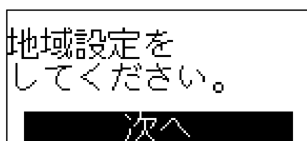
地域設定をする

1 **電源ボタンを押す。**

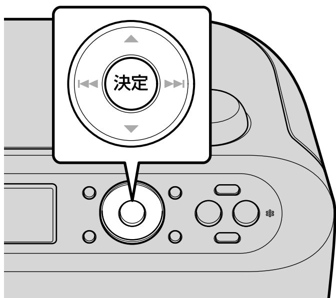
「地域設定をしてください。」の画面が表示されます。



表示窓



2 **決定ボタンを押す。**



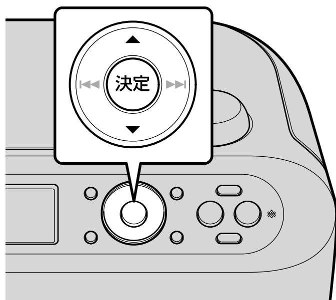
3 **お住まいの地方になるまで、▲▼ボタンを繰り返し押して、決定ボタンを押す。**

「地域設定なし」を選んだ場合、手順3で設定が完了になります。



4 **お住まいの地域になるまで、▲▼ボタンを繰り返し押して、決定ボタンを押す。**

「放送局の登録が変更されます。」と表示されます。



5 **決定ボタンを押す。**

次のページへつづく

メニューを使って地域を変更／再設定するには

1 ラジオFM/AMボタンを押して、ラジオに切り換える。

2 メニューボタンを押す。

3「ラジオ」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

4「地域設定」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

5「地域設定をする」の手順3、4の操作をする。「放送局の登録が変更されます。」と表示されます。

6 決定ボタンを押す。

ちょっと一言

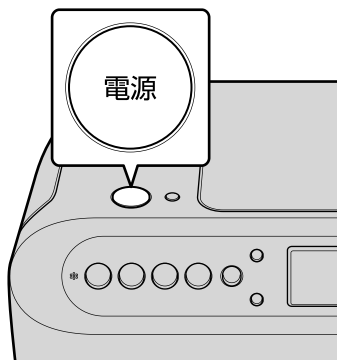
設定した地域設定は、ACコードを抜いても消えません。

時計を合わせる

お買い上げのあと、初めて電源を入れたとき（ラジオ地域設定が完了した状態）や、電池を取り出したあとに電源を入れたときは、「0:00」が点滅します。
時計を合わせる前に、本機に時計用乾電池を入れてください。（17ページ）

1 電源ボタンを押す。

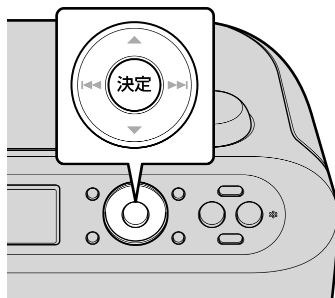
「時計が未設定です。設定しますか？」のメッセージが表示されます。



表示窓

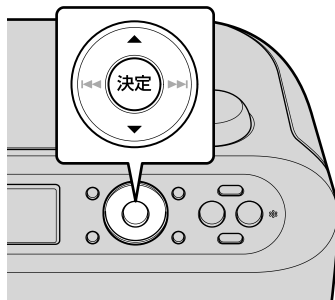
時計が未設定です。
設定しますか？
はい
いいえ

2 決定ボタンを押す。



3 「年」を合わせる。

決定ボタンを押して、設定したい「年」に切り換わるまで、▲▼ボタンを繰り返し押す。
切り換わったら、決定ボタンを押す。



表示窓

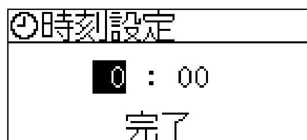
年月日設定
2011 年
1 月 1 日
次へ

4 手順3と同じように操作して、月／日を合わせる。

5 「次へ」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

6 手順3を同じように操作して、時／分を合わせる。

表示窓



7 「完了」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

メニューを使って時計を合わせるには

1 メニューボタンを押す。
2 「共通」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「時計設定」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4 「時計合わせる」の手順3から7の操作を繰り返す。

時刻表示形式を変更するには

時刻表示形式を「12時間」または「24時間」に変更できます。「12 時間」の表示では、「AM」または「PM」が表示されます。

1 メニューボタンを押す。
2 「共通」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「時計表示設定」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4 「12時間」または「24時間」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
選んだ形式に「◆」が表示されます。

画面のコントラストを調節するには

1 メニューボタンを押す。
2 「共通」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「コントラスト」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4 コントラストを調節し、決定ボタンを押す。

画面の明るさを調節するには

1 メニューボタンを押す。
2 「共通」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「画面の明るさ」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4 ▼▲ボタンを押して、画面の明るさを選び、決定ボタンを押す。
選んだ明るさに「◆」が表示されます。

時刻を自動で補正するには（自動時刻補正）

本機は、自動で時報を検出し、時刻を補正することができ、12:00、16:00、20:00の1日3回補正します。
あらかじめ、AMのプリセット番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送を登録し、次の操作をする。

1 メニューボタンを押す。
2 「共通」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「自動時刻補正」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4 「オン」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
AMのプリセット番号P01に登録されていない場合、「ラジオAMのプリセットP01を設定してください。」と表示されます。

自動時刻補正を解除するには

「時刻を自動で補正するには（自動時刻補正）」の手順1から3の操作を繰り返し、「オフ」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

次のページへつづく

ご注意

- アラームや録音予約機能を使用したり、録音した日時をフォルダ／ファイル名やメタ情報（データ形式やタイトルなど）に使用するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。
- 電池未使用時に、電源コードを抜いたり停電になった場合、時計はお買い上げ時の設定になります。
- 次の操作の場合、画面は元に戻ります。
  - 設定操作中に約3分間何も操作しない場合
  - CDぶたを開けた場合
  - 録音予約が開始した場合
- 本機は、電源オフのときに、誤差3分以内の時刻を自動で補正する機能があります。（自動補正機能）

  自動補正が機能しない場合は、次のことを確認してください。
  - 時計未設定の場合
  - AMのプリセット番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されていない場合
  - ラジオの受信状態が悪い場合
  - 電源がオンの場合
  - AC電源が供給されていない場合
  - 予約録音動作中の場合
  - 設定された時刻が3分以上ずれていて、処理中に時報音が検出できない場合

ちょっと一言

電源が入った状態で日時ボタンを押すと、現在日時が表示されます。

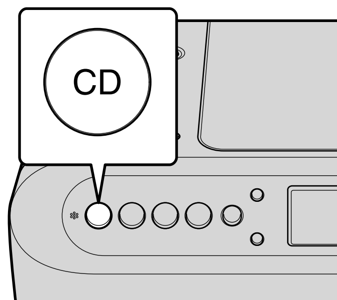
CDを聞く

CDの操作をする前に、次のことを確認してください。

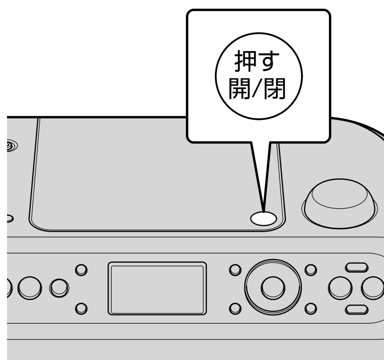
- 本体に電源コードを接続する。（17ページ）
- 聞きたいCDを準備する。
- 再生可能なCDについて詳しくは次の通りです。
  – 音楽CD
  – 音楽用CDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RW
  – データCD (MP3、WMAが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMで、ISO9660レベル1/レベル2に準拠したディスク）

1 CDボタンを押す。

自動で電源が入ります。

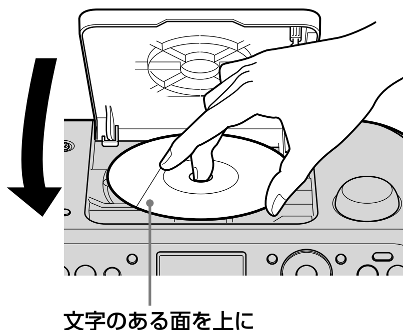


2 押す・開/閉を押し、CDぶたを開ける。



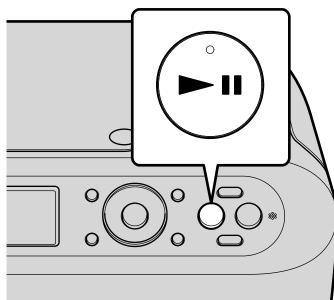
3 CDを入れる。

CD中央部を押してディスクを装着し、手でふたを閉める。

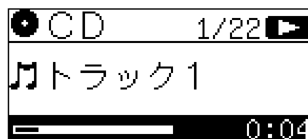


4 ►II（再生/一時停止）ボタンを押す。

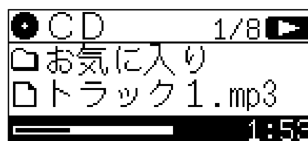
再生が始まります。



表示窓（音楽CD）



表示窓（MP3/WMA CD）



次のページへつづく

MP3/WMA CDについて

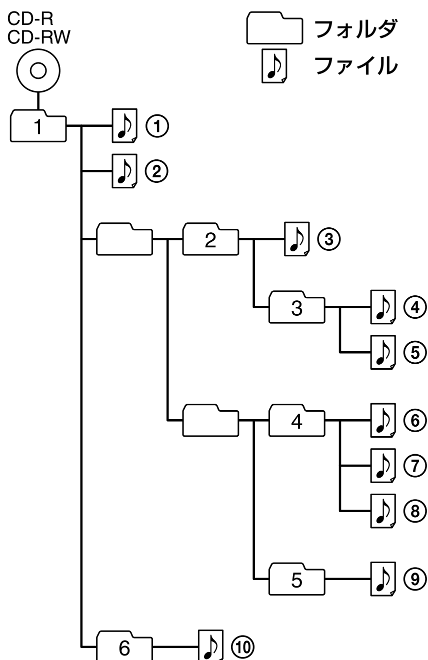
使用できるフォルダ数とファイル数

- 最大フォルダ数：511
- 最大ファイル数：511

ディスクに記録されているファイル／フォルダ数によっては、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

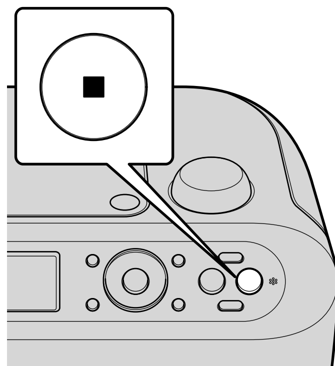
再生の順番

MP3 CDでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。下記MP3 CDの例では、①から⑩の順にファイルが再生されます。



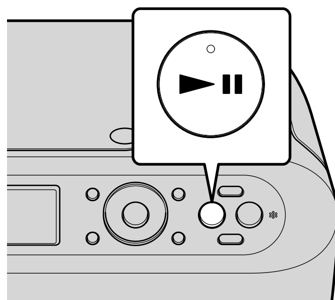
再生をやめるには

■（停止）ボタンを押す。



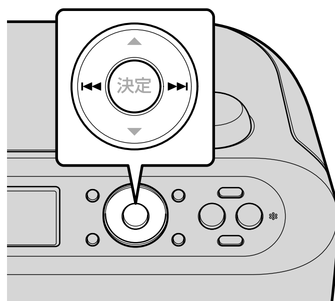
再生中に一時停止するには

再生中に▶II（再生/一時停止）ボタンを押す。
一時停止を解除する場合は、一時停止中に▶II（再生/一時停止）ボタンを押す。



曲の頭に戻す／次の曲へ進むには

I◀◀/▶▶Iボタンを押す。



重低音を楽しむには

1 メニューボタンを押す。

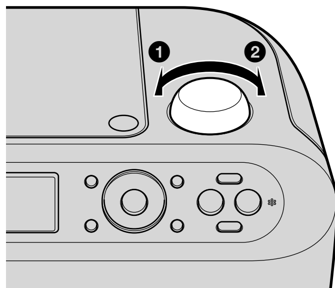
2「共通」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

3「MEGA BASS」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

4「オン」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
「オン」に「◆」が表示されます。

音量を調節するには

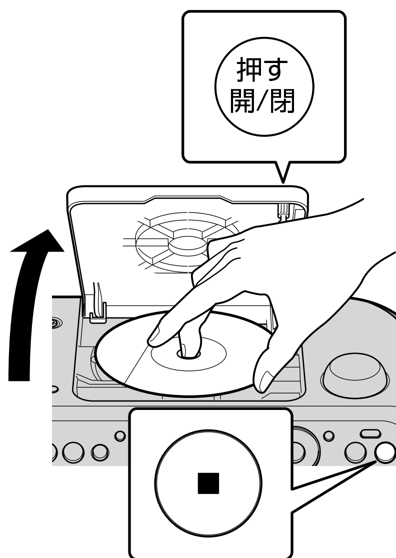
音量つまみで調節する。左に回す(❶)と音量が下がり、右に回す(❷)と音量が上がります。



CDを取り出すには

■(停止)ボタンを押す。

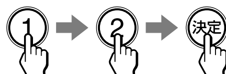
押す・開/閉を押し、CDぶたを開ける。



曲番を数字ボタンで選ぶには

リモコンの数字ボタンを押す。

例:曲番12の場合は、数字ボタン1、2の順に押して、決定ボタンを押す。



ご注意

- 特殊な形状(ハート型、カード型、星型など)のディスクを挿入しないでください。
  修復不能な損傷を本機に与えるおそれがあります。
- テープやシールの貼られたディスク、接着剤ののりが付着したディスクなどは、故障するおそれがあるため、本機では使わないでください。
- ディスクを取り出すときは、記録面(文字や絵が書かれていない面)に触れないようご注意ください。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては、再生が始まるまでに時間がかかったり、再生されない場合があります。
- MP3/WMAファイルのディスクでは、MP3/WMA以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。
- 本機が対応するファイルフォーマットは次のとおりです。
  – MP3:拡張子「.mp3」
  – WMA:拡張子「.wma」
  上記に該当する拡張子をファイル名が持っていても、フォーマットが異なっている場合は、本機では再生できない、または再生するときに、不具合が生じる場合があります。
- 再生できないCDを入れた場合、「ディスクがありません。」が表示されます。再生可能なCDか確認してください。

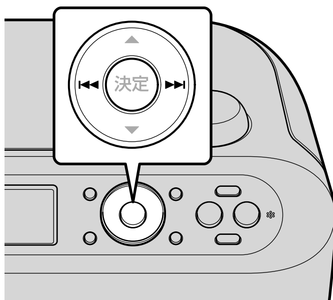
再生方法を変える

聞きたい部分を探す（サーチ）

CDの再生中に、⏮または⏭ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すことができます。

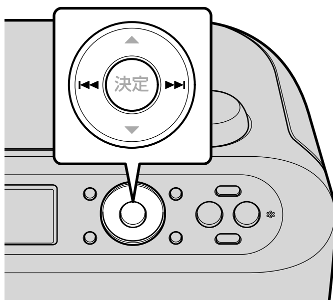
聞きながら探すには

再生中に⏮または⏭ボタンを押したままにする。



表示窓の演奏時間を見ながら探すには

一時停止中に⏮または⏭ボタンを押したままにする。

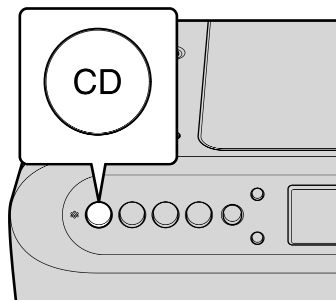


繰り返し聞く（リピート再生）

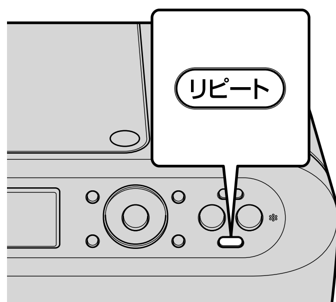
CDの1曲または全曲を繰り返して聞くことができます。

1 CDボタンを押す。

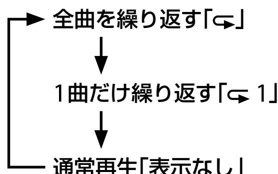
自動で電源が入ります。



2 聞きたいリピート再生になるまで、リピートボタンを繰り返し押す。

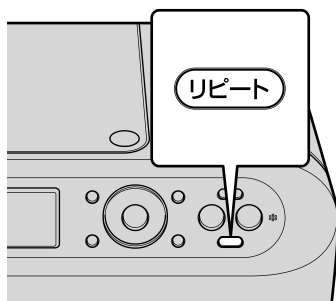


ボタンを押すたびに、次の表示になります。



リピート再生をやめるには

「⮌」または「⮌ 1」の表示が消えるまで、リピートボタンを繰り返し押す。

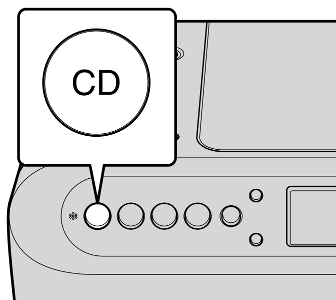


順不同に聞く
（シャッフル再生）

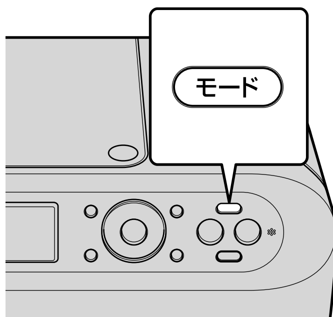
CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

1 **CDボタンを押す。**

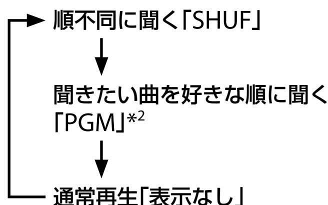
自動で電源が入ります。



2 **停止中に「SHUF」が表示されるまで、モードボタンを繰り返し押す。**



ボタンを押すたびに、次の表示なります。*1



*1: 再生中にシャッフル再生の設定はできません。

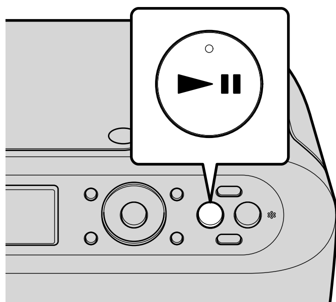
*2: プログラム設定については、「聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム再生）をご覧ください。（28ページ）

MP3 CD、WMA CDではフォルダシャッフル再生もできます。
詳しくは「フォルダ内のファイルを順不同に聞く」をご覧ください。（30ページ）

次のページへつづく

3 ►II（再生/一時停止）ボタンを押す。

再生が始まります。



シャッフル再生をやめるには

「SHUF」の表示が消えるまで、停止中にモードボタンを繰り返し押す。

シャッフル再生を1曲または全曲を繰り返して聞くには

シャッフル再生の設定し、聞きたいリピート再生になるまで、リピートボタンを繰り返し押す。（26、27ページ）

ご注意

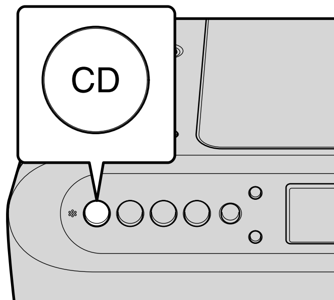
シャッフル再生中に、I◄◄ ボタンを押しても、直前に聞いていた曲に戻すことはできません。

聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム再生）

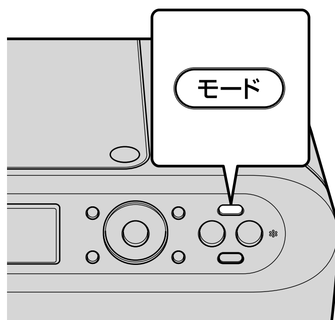
聞きたい曲を聞きたい順に25曲までプログラムを登録することができます。

1 CDボタンを押す。

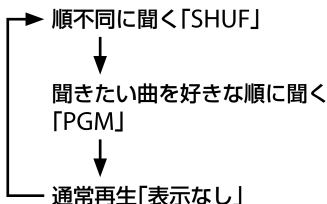
自動で電源が入ります。



2 停止中に「PGM」が表示されるまで、モードボタンを繰り返し押す。

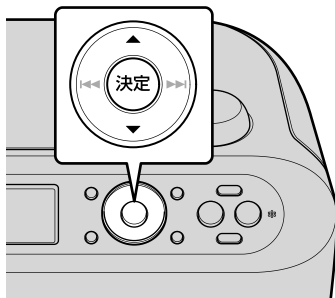


ボタンを押すたびに、次の表示になります。



3 「登録」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

4 ▼▲ボタンを押して曲番を選び、決定ボタンを押す。

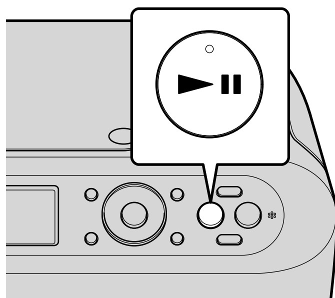


5 引き続きプログラムする場合は、「次の曲の登録」になるまで、▼▲ボタンを押して、手順4の操作を繰り返す。

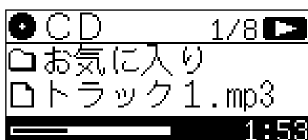
プログラム登録が終わった場合は、「完了」を選ぶ。

6 ►II（再生/一時停止）ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。



表示窓



曲順を確認するには

再生中に■（停止）ボタンを2回押す。
「プログラム登録」の表示に戻ります。

プログラムを追加で登録するには

1 停止中に「プログラム登録」の表示にする
2 「編集」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「登録」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押し、「聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム再生）」の手順4の操作を繰り返す。
4 操作が終われば、「完了」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

プログラムを削除するには

「1曲削除」の場合

1 停止中に「プログラム登録」表示にする。
2 「編集」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「1曲削除」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4 削除したい曲になるまで、▼▲を押して、決定ボタンを押す。
5 「削除」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

「全曲削除」の場合

1 停止中に「プログラム登録」表示にする。
2 「編集」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「全曲削除」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

プログラム再生をやめるには

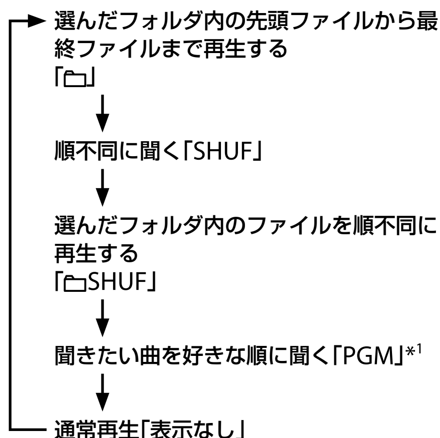
「PGM」の表示が消えるまで、モードボタンを繰り返し押す。

ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。►II（再生/一時停止）ボタンを押すと、同じプログラムをもう一度聞くことができます。ただし、CDぶたを開けるとプログラムの内容は消えます。
- プログラム演奏を録音するには、プログラムを作ってから、録音を始めてください。

フォルダ内のファイルを順不同に聞く（フォルダシャッフル再生）（MP3/WMAディスクのみ）

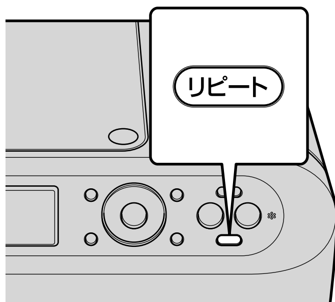
聞きたい再生方法になるまで、停止中にモードボタンを繰り返し押す。
ボタンを押すたびに、次の表示になります。



*1: プログラム設定については、「聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム再生）」をご覧ください。（28ページ）

フォルダを繰り返して聞く（フォルダリピート再生）

フォルダ再生またはフォルダシャッフル再生の設定をしたあと、リピートボタンを繰り返し押す。

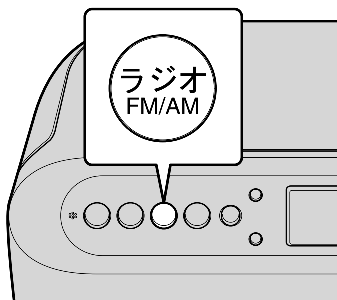


ラジオを聞く

ラジオの操作をする前に、本体に電源コード（17ページ）、AMループアンテナを接続してください。（32ページ）

1 ラジオFM/AMボタンを押す。

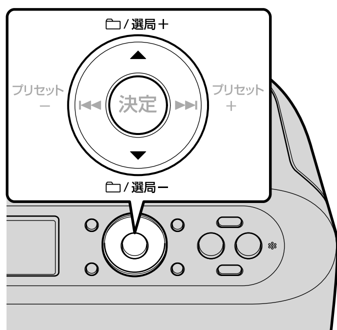
自動で電源が入ります。



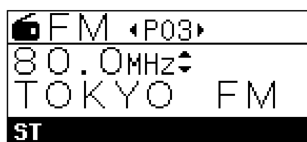
2 ラジオFM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

3 選局＋（▲）または－（▼）ボタンを押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。

放送局を自動で受信して止まります。受信できなかったときは、聞きたい局の周波数に切り換わるまで、選局＋（▲）または－（▼）ボタンを繰り返し押す。

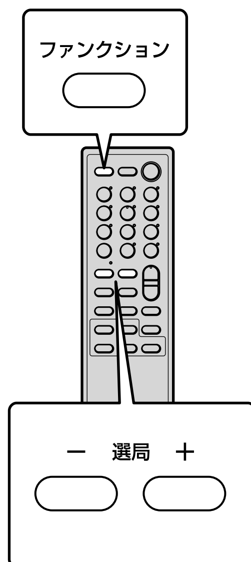


表示窓

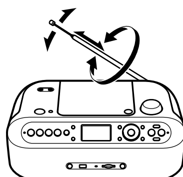


リモコンでは（ZS-R110CPのみ）

ファンクションボタンを繰り返し押して、FMまたはAMを選び、選局+または選局－ボタンで放送局を選ぶ。

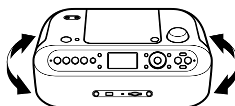


受信状態をよくする



FM放送のとき

ロッドアンテナを伸ばし向きを変える。



AM放送のとき（内蔵アンテナ）

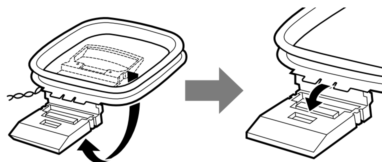
本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

次のページへつづく

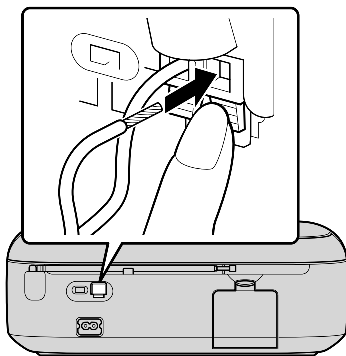
AM放送のとき（外部アンテナ）

本機の向きを調節しても受信状態がよくない場合は、AMラジオ用ループアンテナ（付属）を取り付けてください。

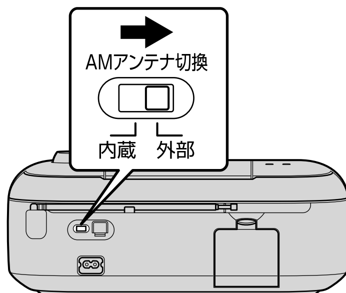
1 AMラジオ用ループアンテナを次のように組み立てる。



2 AMラジオ用ループアンテナ接続端子のレバーを押しながら、アンテナコードを接続する。コード先端部にある被覆を取ってください。

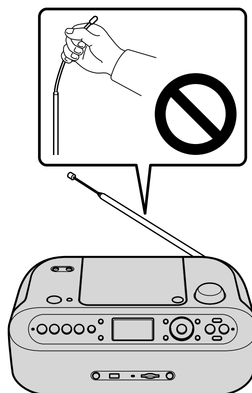


3 内蔵／外部AMアンテナ切換スイッチを「外部」に切り換える。



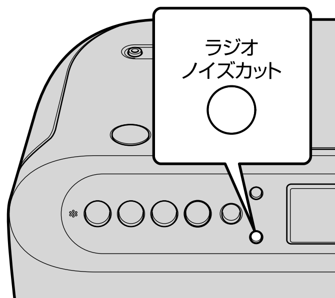
ご注意

- AMラジオ用ループアンテナは、受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。雑音の原因になるため、AMラジオ用ループアンテナは本体や他のAV機器から離してください。
- ロッドアンテナの角度を調整するときは、付け根の部分を持ってください。
  先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。



ちょっと一言

- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AMのステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、「常時モノラル」と表示されるまでモードボタンを繰り返し押してください。モードボタンを再び押すと、「自動ステレオ」と表示されます。
  また、ラジオノイズカットボタンを押すと、画面に「ノイズカット」が表示され、ノイズがカットされます。

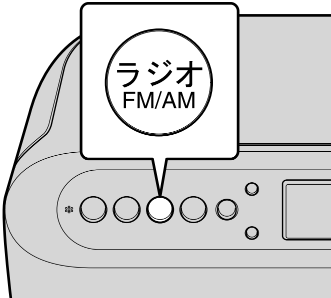


記憶させた放送局を聞く（プリセット選局）

あらかじめ記憶させておいた放送局を、簡単に選ぶことができます。

1 ラジオFM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

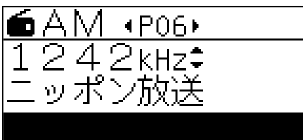
自動で電源が入ります。



2 聞きたいプリセット番号に切り換わるまで、プリセット＋（▶▶I）またはー（I◀◀）ボタンを繰り返し押して、プリセット番号を選ぶ。

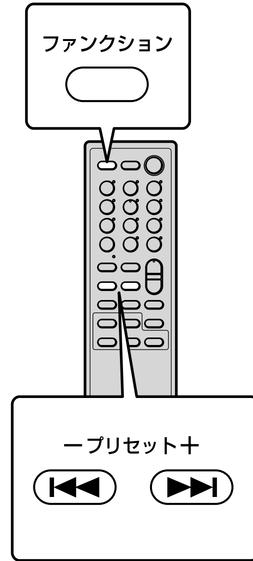


表示窓



リモコンでは（ZS-R110CPのみ）

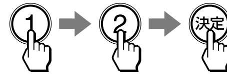
ファンクションボタンを繰り返し押して、FMまたはAMを選び、プリセット＋またはーボタンを繰り返し押して、プリセット番号を選ぶ。



プリセット番号を数字ボタンで選ぶには

リモコンの数字ボタンを押す。

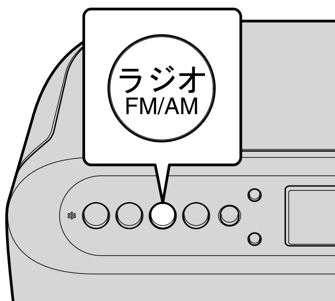
例：プリセット番号12の場合は、数字ボタン1、2の順に押して、決定ボタンを押す。



放送局を記憶させる（プリセット）

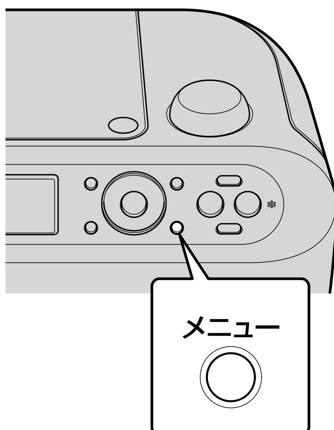
受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶された番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。最大でFM20局、AM10局の合計30局まで記憶できます。地域設定した放送局の受信状態が良くないときは、プリセット登録してください。

1 **ラジオFM/AMボタンを押す。**
自動で電源が入ります。

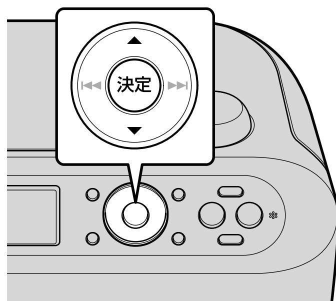


2 **ラジオFM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ**

3 **メニューボタンを押す。**



4 **「ラジオ」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。**



5 **「オートプリセット」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。**
プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

1 ラジオFM/AMボタンを押す。
自動で電源が入ります。
2 ラジオFM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
3 記憶させたい放送局を受信する。
4 メニューボタンを押す。
5 「ラジオ」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
6 「プリセット登録」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
7 希望の登録先になるまで、▼▲ボタンを押し、決定ボタンを押す。
8 「登録」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
「登録しました。」と表示されます。

ご注意

自動時刻補正機能を使用する場合は、AMのプリセット番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送を登録してください。（21ページ）

ちょっと一言

記憶させた放送局は、ACコードを抜いたり、乾電池を取り出したりしても消えません。

プリセットを削除するには

1. メニューボタンを押す。
2. 「ラジオ」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3. 「プリセット削除」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4. 削除するプリセット番号になるまで、▼▲ボタンを押し、決定ボタンを押す。
5. 「削除」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
   「削除しました。」と表示されます。

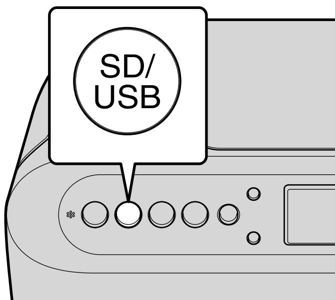
SDカード/USB機器を聞く

操作をする前に、次のことを確認してください。
- 聞きたいSDカード／ USB機器を準備してください。
- microSDカード、microSDHCカードを使用する場合、SD変換アダプターをお使いください。
- 再生可能なフォーマットは、MP3/WMA/AACです。（72ページ）
- 再生可能なSDカードについて詳しくは「本機で再生できるSDカードについて」をご覧ください。（11、74ページ）

SDカード使って再生する

1 SD/USBボタンを押す。

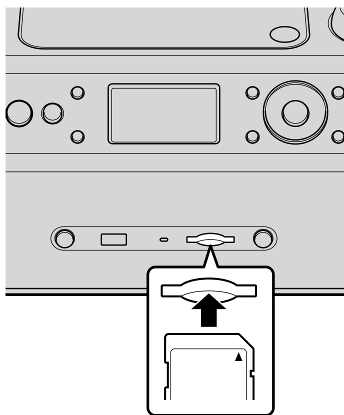
自動で電源が入ります。



2 SD/USBボタンを押して、SDに切り換える。

3 SDカードを入れる。

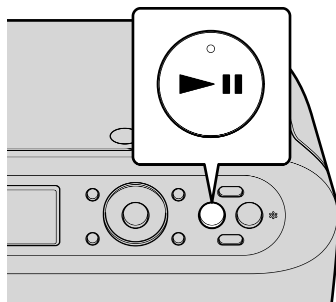
「読み込み中」と表示されます。表示窓に「読み込み中」が表示されている間はSDカードを抜かないでください。



SDカードに記録されているファイル／フォルダ数によっては読み込みに時間がかかる場合があります。

4 ►II（再生/一時停止）ボタンを押す。

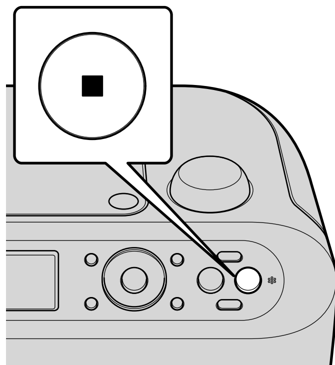
再生が始まります。



表示窓

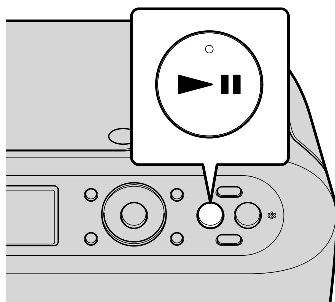


再生をやめるには
■(停止)ボタンを押す。

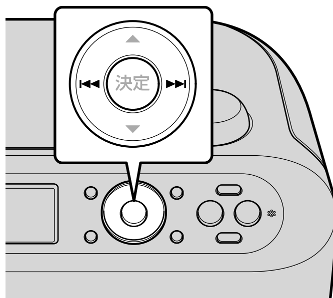


停止したところから再生するには(リジューム再生)
SDカードの再生中、■(停止)ボタンを押して、停止する。表示窓に「■」と表示されます。
▶II(再生/一時停止)ボタンを押すと、停止したところから、再生が始まります。

再生中に一時停止するには
再生中に▶II(再生/一時停止)ボタンを押す。
一時停止を解除する場合は、一時停止中に▶II(再生/一時停止)ボタンを押す。



早送りや巻戻しをするには
I◀◀ または▶▶Iボタンを押す。

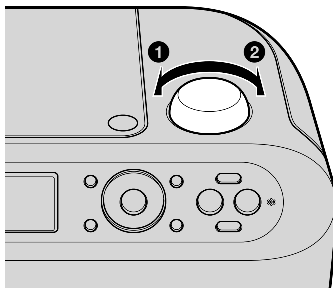


曲番を数字ボタンで選ぶには
「曲番を数字ボタンで選ぶには」を確認する。(25ページ)

再生方法を変更するには
「再生方法を変える」を確認する。(26ページ)

重低音を楽しむには
1 メニューボタンを押す。
2 「共通」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 「MEGA BASS」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4 「オン」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
「オン」に「◆」が表示されます。

音量を調節するには
音量つまみで調節する。左に回す(❶)と音量が下がり、右に回す(❷)と音量が上がります。



次のページへつづく

SDカードを取り出すには

SDカードを一度奥に押し、手前に出てきたら、SDカードスロットから取り出す。

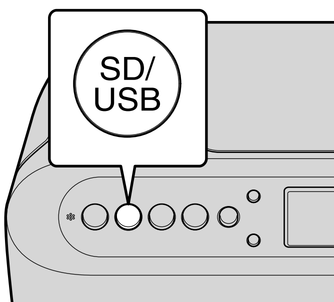
ご注意

- 表示窓に「読み込み中」が表示されている間は、SDカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- SDカードが認識されない場合はSDカードを取り出し、再度入れ直してください。
- 挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、SDカード以外のものは入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

USB機器使って再生する

1 SD/USBボタンを押す。

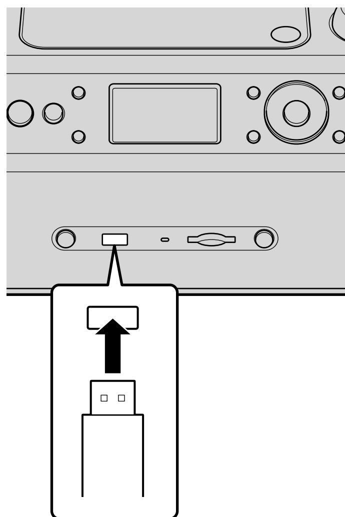
自動で電源が入ります。



2 SD/USBボタンを押して、USBに切り換える。

3 USB機器を差し込む。

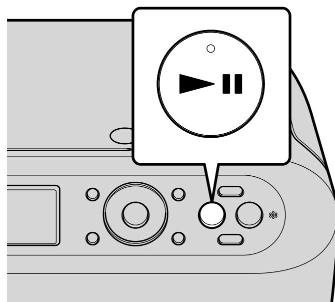
「読み込み中」と表示されます。表示窓に「読み込み中」が表示されている間はUSB機器を抜かないでください。



USB機器に記録されているファイル／フォルダ数によっては読み込みに時間がかかる場合があります。

4 ►II（再生/一時停止）ボタンを押す。

再生が始まります。

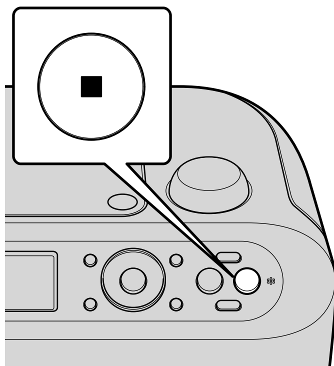


表示窓



再生をやめるには

■（停止）ボタンを押す。



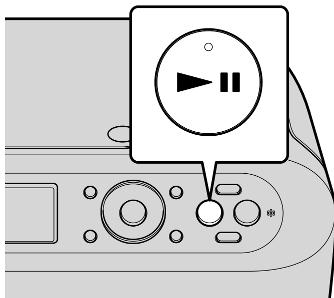
停止したところから再生するには（リジューム再生）

USB機器の再生中に、■（停止）ボタンを押す。表示窓に「■」と表示されます。

▶II（再生/一時停止）ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。

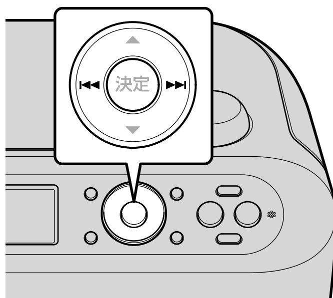
再生中に一時停止するには

再生中に▶II（再生/一時停止）ボタンを押す。一時停止を解除する場合は、一時停止中に▶II（再生/一時停止）ボタンを押す。



早送りや巻戻しをするには

I◀◀ または▶▶Iボタンを押す。



重低音を楽しむには

1 メニューボタンを押す。

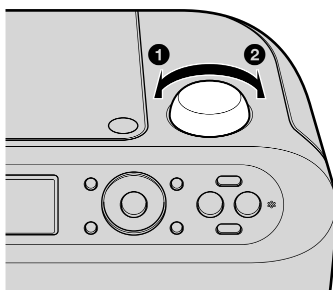
2 「共通」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

3 「MEGA BASS」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

4 「オン」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
「オン」に「◆」が表示されます。

音量を調節するには

音量つまみで調節する。左に回す（❶）と音量が下がり、右に回す（❷）と音量が上がります。



USB機器を抜くには

USBポートから抜く。

ご注意

- 表示窓に「読み込み中」が表示されている間はUSB機器を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- USB機器が認識されない場合はUSB機器を抜き、再度差し込んでください。

次のページへつづく

- 挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、USB機器以外のものは差し込まないでください。火災・感電・故障の原因となります。

曲番を数字ボタンで選ぶには

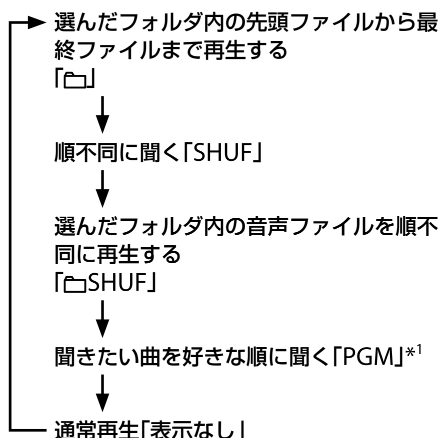
「曲番を数字ボタンで選ぶには」を確認する。（25ページ）

再生方法を変えるには

「再生方法を変える」を確認する。（26ページ）
SDカードまたはUSB機器には次の再生方法もあります。

フォルダを聞くには

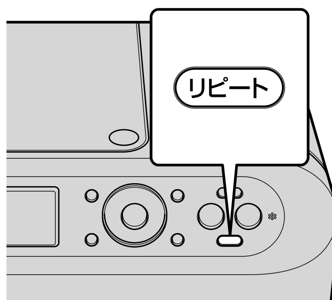
聞きたい再生方法になるまで、モードボタンを繰り返し押す。
ボタンを押すたびに、次の表示になります。



*1: プログラム設定については、「聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム再生）」をご覧ください。（28ページ）

フォルダを繰り返して聞く（フォルダリピート再生）

フォルダ再生またはフォルダシャッフル再生の設定をしたあと、リピートボタンを繰り返し押す。

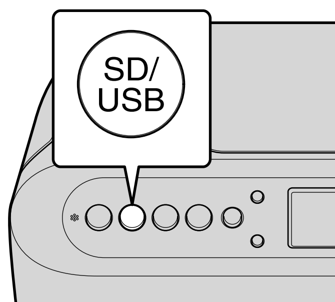


USB機器のメモリー切り換え

ICレコーダーなど複数のメモリーを持つUSB機器でのメモリー（音源）を切り換えることができます。

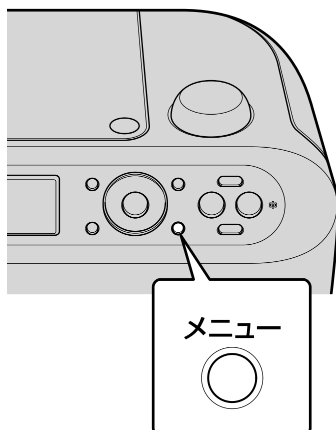
1 SD/USBボタンを押す。

自動で電源が入ります。



2 SD/USBボタンを押して、USBに切り換える。

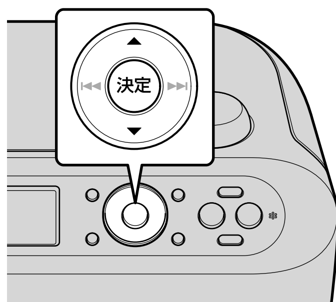
3 メニューボタンを押す。



4 「USB」を選び、決定ボタンを押す。

5 「メモリー選択」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

6 お好みの音源になるまで、▲▼ボタンを押して、決定ボタンを押す。



特定のフォルダやファイルを選択して再生する

CD(CD-R/CD-RW)の再生ファイルを指定するには

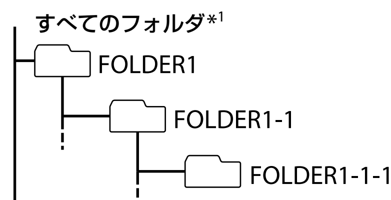
1 聞きたいCD(CD-R/CD-RW)を入れる。
2 「フォルダ選択」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 お好みのフォルダ(ファイル)になるまで▼▲を押す。

SDカード/USB機器の再生ファイルを指定するには

1 聞きたいSDカード、USB機器を差し込む。
2 お好みの音源を選び、決定ボタンを押す。
3 お好みのフォルダ(ファイル)になるまで▼▲を押す。

フォルダ構成はCDまたはSDカード(USB機器)によって異なります。
詳しくは次をご覧ください。

CDの場合

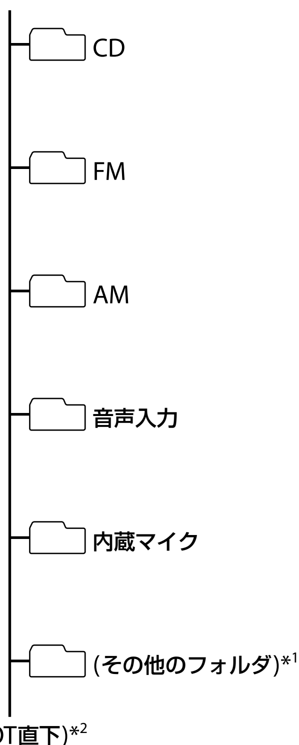


(ROOT直下)*2

*1: 再生対象ファイルを含むフォルダのみ、同じ階層で表示されます。
上記の例の場合、「フォルダ選択」になるまで、▼▲ボタンを押すと、次の階層が同じ階層で表示されます。
(実際には異なる階層にあるフォルダになります。)
FOLDER1
FOLDER1-1
FOLDER1-1-1

*2: ROOT直下 (機器内の最上位層) に再生対象ファイルがある場合は、「ROOT」というフォルダにあるものとみなされます。

SDカード、USB機器の場合



*1: CD-ROM の「フォルダ選択」と同じ動作となります。

*2: ROOT直下 (デバイス内の最上位) に再生対象ファイルがある場合は、「ROOT」というファイルにあるものとみなされます。

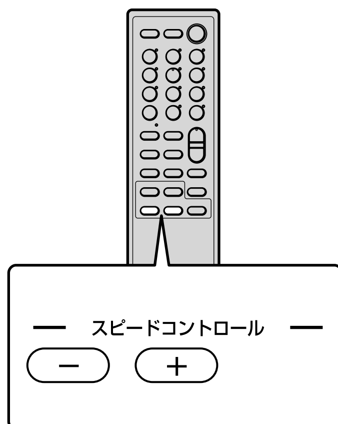
再生速度を変更する
(スピードコントロール機能)(ZS-R110CPのみ)

再生速度を0.50倍速から1.50倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。
(DPC(Digital Pitch Control))
再生速度について詳しくは、次をご覧ください。

機器	種類	速度変更幅
CD	CD-DA	0.50倍速 - 1.50倍速
	MP3	0.50倍速 - 1.50倍速
	WMA	非対応
USB/SD	MP3	0.50倍速 - 1.50倍速
	WMA	非対応
	AAC	0.50倍速 - 1.30倍速

速度を変更するには

リモコンのスピードコントロール+ボタンまたは–ボタンを押して、再生速度を調節する。

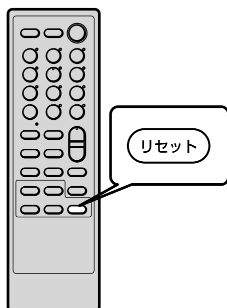


0.1倍速刻みで速度が変わります。
CDぶたを開けた場合またはUSB機器、SDカードを取り出した場合、「1.0倍」に戻ります。

次のページへつづく

通常の再生速度に戻すには

スピードコントロールリセットボタンを押す。

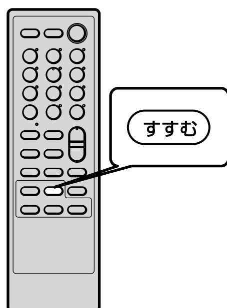


再生位置を進める/戻す
（イージーサーチ機能）（ZS-R110CPのみ）

再生中にイージーサーチすすむ/もどるボタンを押すと、音声を戻して聞きなおしたり、進めて聞くことができます。

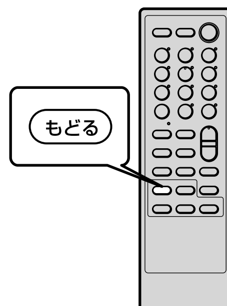
「すすめる」には

本体またはリモコンのイージーサーチすすむボタンを1回押す。
約10秒先に進みます。



「もどす」には

本体またはリモコンのイージーサーチもどるボタンを1回押す。
約3秒前に戻ります。



ご注意

- 停止中または一時停止中は、イージーサーチ機能は使えません。
- 最後の曲で残り再生時間が10秒未満の場合、イージーサーチすすむボタンを押すと、曲は停止します。
- 全曲リピートのとき、最後の曲で残り再生時間が10秒未満の場合、イージーサーチすすむボタンを押すと、始めの曲になります。
- スピードコントロール機能／イージーサーチ機能は本体ボタンで操作できません。

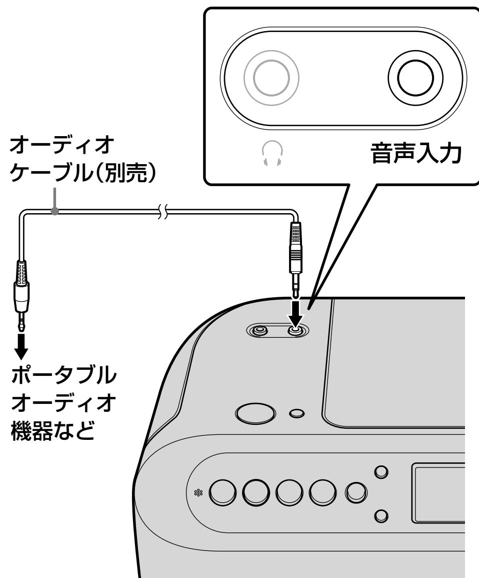
外部機器をつなぐ

別売りの外部機器をつなぐ

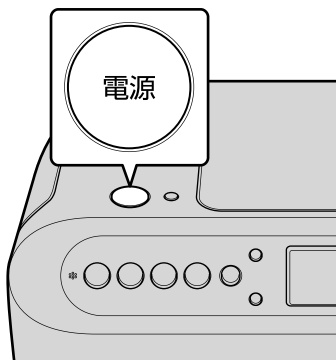
携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を本機に接続して、スピーカーから流れる音を楽しむことができます。接続する前に本機と接続機器の電源を切ってください。

1 本機上部の音声入力端子と外部機器をオーディオケーブル(別売)でしっかり接続する。

本機側はステレオミニプラグタイプのケーブルを使用する。



2 電源ボタンを押す。



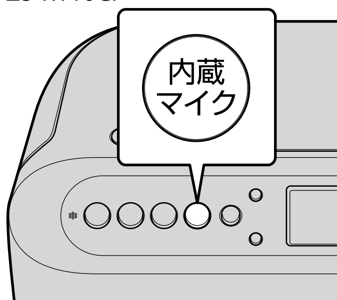
3 本機に接続した外部機器の電源を入れる。

外部機器の操作について詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

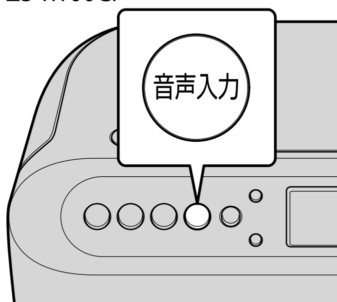
次のページへつづく

4 音声入力・内蔵マイクボタン（ZS-R100CPは音声入力ボタン）を押す。

ZS-R110CP



ZS-R100CP



5 外部機器を操作して再生する。

本機のスピーカーから音が流れます。

ご注意

- 使用するオーディオケーブルは、外部機器によって異なります。接続する外部機器に適したケーブルを使用してください。
- 音量が小さい場合は、まず外部機器の音量を調節してください。それでも小さい場合は、本機の音量を調節してください。
- 外部機器をはずす場合は、オーディオケーブルもはずしてください。

CDをSDカード/USB機器に録音する

本機で録音されるフォーマットは次の通りです。

MP3
–サンプリング周波数　44.1kHz(固定)
–ビットレート　128kbps(固定)
サンプリング周波数、ビットレートは変更できません。

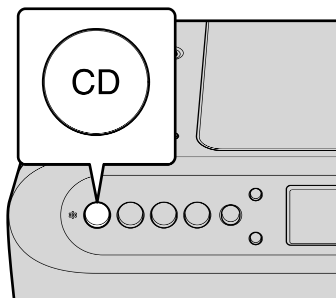
録音の操作をする前に、次のことを確認してください。

- 対象のSDカード(またはUSB機器)を使用しているか。(11ページ)
- SDカード(またはUSB機器)の空き容量はあるか。
  確認するには次の操作をしてください。
  1 メニューボタンを押す。
  2「SD」(または「USB」)になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
  3「録音可能時間」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
- CDを録音する場合、曲は128kbps(ビットレート)のMP3ファイルで録音されます。MP3/WMAの場合、録音元のMP3/WMAと同じkbps(ビットレート)で録音されます。

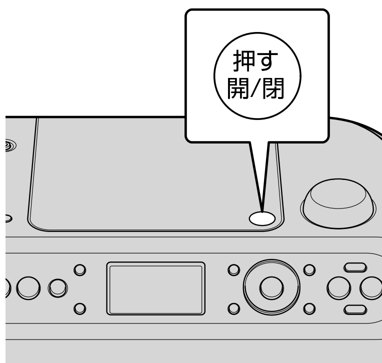
全曲を録音するには

1 CDボタンを押す。

自動で電源が入ります。

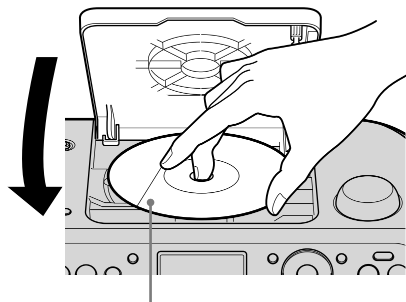


2 押す・開/閉を押し、CDぶたを開ける。



3 CDを入れる。

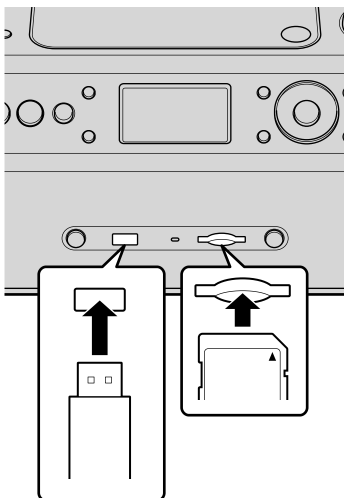
CD中央部を押してディスクを装着し、手でふたを閉める。



次のページへつづく

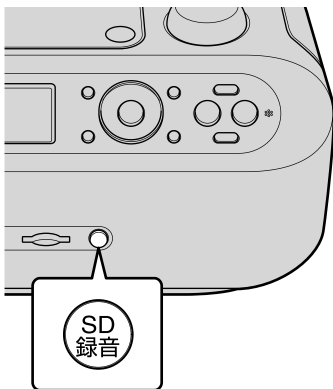
録音する

4 SDカードを入れる、またはUSB機器を差し込む。

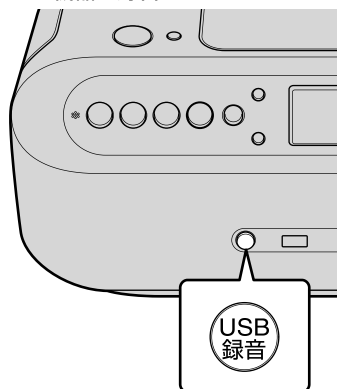


5 CD停止状態で録音先のボタンを押す。

SDカードに録音する

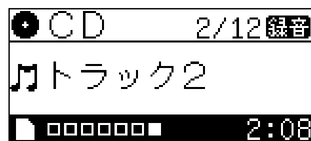


USB機器に録音する



「録音準備中」と表示されたあと、録音がはじまります。録音中は次のように表示します。

表示窓



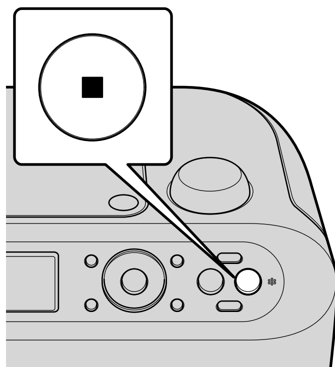
録音中はCDからの音声は出力されません。

1曲だけ録音するには

CD再生中または❚❚(一時停止中)にSD録音ボタン(USB機器の場合はUSB録音ボタン)を押す。

録音を途中でやめるには

■(停止)ボタンを押す。



ちょっと一言

- 再生中に表示ボタンを繰り返し押すと、SDカード/USB機器の録音可能時間や曲情報などが表示されます。
- 音楽用CD(CD-DA)は、収録時間の約半分の時間で録音が完了します。

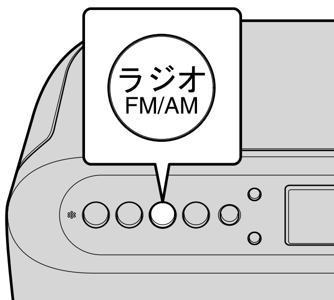
ラジオの音声をSDカード/USB機器に録音する

録音の操作をする前に、次のことを確認してください。

- ラジオが受信できる状態になっているか。(31ページ)
- 対象のSDカード(またはUSB機器)を使用しているか。(11ページ)
- SDカード(またはUSB機器)の空き容量はあるか。
  確認するには次の操作をしてください。
  1 メニューボタンを押す。
  2 「SD」(または「USB」)になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
  3 「録音可能時間」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

1 **ラジオFM/AMボタンを押す。**

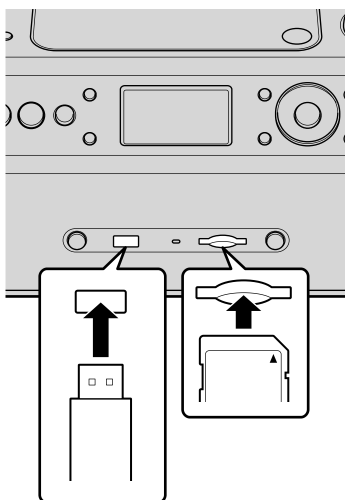
自動で電源が入ります。



2 **ラジオFM/AMボタンを押して、録音する局を受信する。**

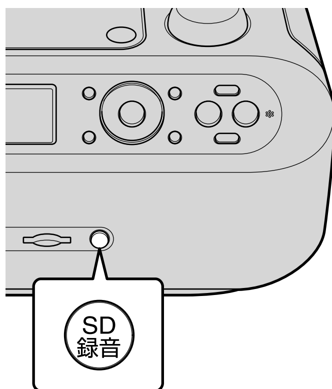
次のページへつづく

3 SDカードを入れる、またはUSB機器を差し込む。

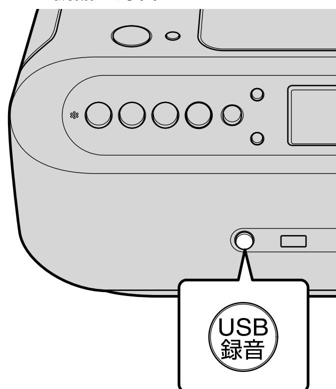


4 録音先のボタンを押す。

SDカードに録音する



USB機器に録音する



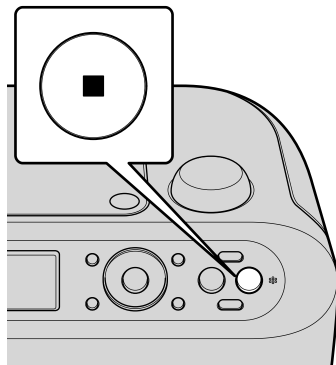
「録音準備中」と表示されたあと、録音がはじまります。録音中は次のように表示します。

表示窓



録音をやめるには

■（停止）ボタンを押す。



ご注意

- AM放送を録音するとき、受信状態および接続される機器によって、雑音が生じる場合があります。雑音が生じた場合、AMループアンテナを使ってください。AMループアンテナと本体との距離を離して使用してください。
- FM放送を録音するとき、受信状態および接続されるUSB機器によっては、雑音が生じる場合があります。
  雑音が生じた場合、SDカードで録音をしてください。
- ラジオ受信中に表示ボタンを繰り返し押すと、SDカード/USB機器の録音可能時間が表示されます。

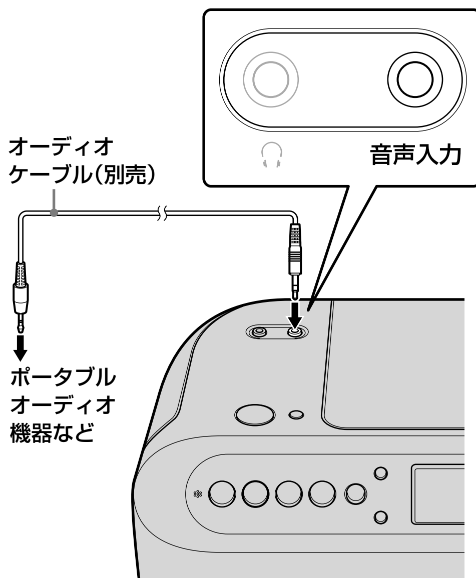
外部機器をSDカード/USB機器に録音する

録音の操作をする前に、次のことを確認してください。

- 外部機器の電源が入っているか。
- 外部機器がしっかり接続されているか。
- 接続機器の音量を調節しているか。
- 対象のSDカード（またはUSB機器）を使用しているか。（11ページ）
- SDカード（またはUSB機器）の空き容量はあるか。
  確認するには次の操作をしてください。
  1 メニューボタンを押す。
  2 「SD」（または「USB」）になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
  3 「録音可能時間」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

1 **外部機器を接続する。**

本機側はステレオミニプラグタイプのケーブルを使用する。



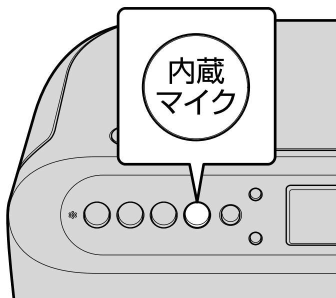
次のページへつづく

録音する

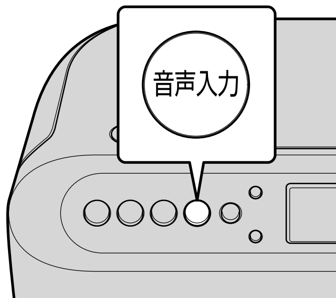
2 音声入力・内蔵マイクボタン（ZS-R100CPは音声入力ボタン）を押す。

自動で電源が入ります。

ZS-R110CP



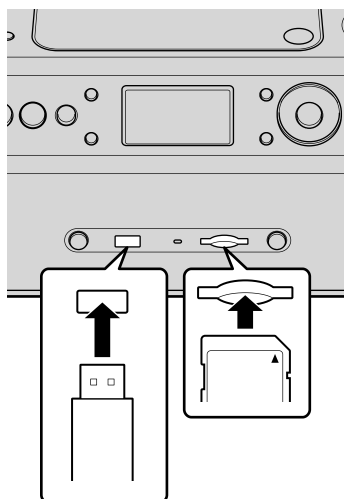
ZS-R100CP



3 本機に接続した外部機器の電源を入れる。

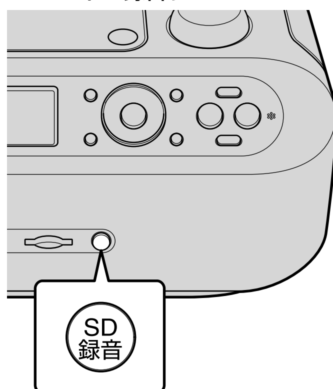
外部機器の操作について詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

4 SDカードを入れる、またはUSB機器を差し込む。

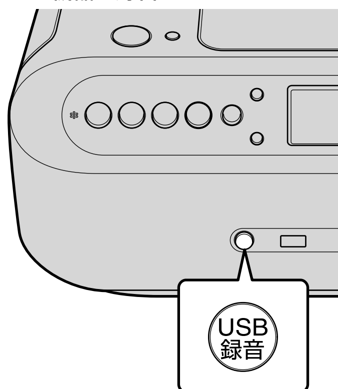


5 録音先のボタンを押す。

SDカードに録音する



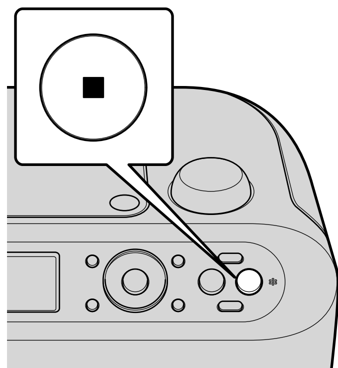
USB機器に録音する



「録音準備中」と表示されたあと、録音がはじまります。

録音をやめるには

■(停止)ボタンを押す。



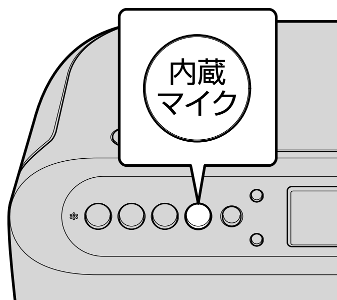
ちょっと一言

再生中に表示ボタンを繰り返し押すと、SDカード/USB機器の録音可能時間などが表示されます。

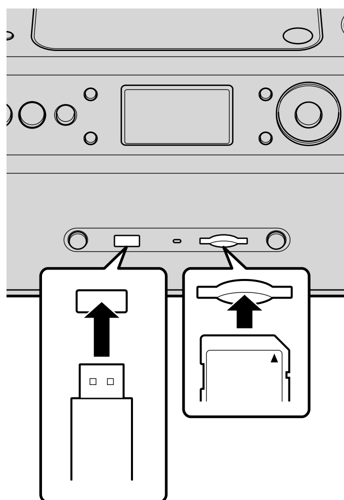
内蔵マイクの音声をSDカード/USB機器に録音する(ZS-R110CPのみ)

1 内蔵マイクボタンを押す。

自動で電源が入ります。



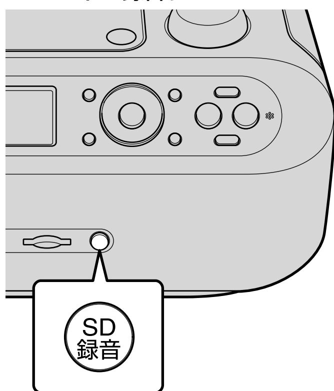
2 SDカードを入れる、またはUSB機器を差し込む。



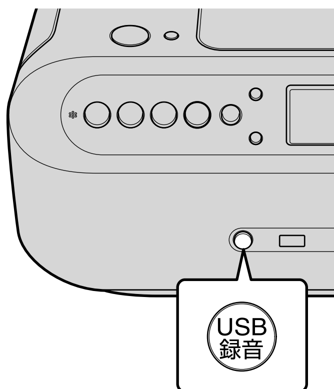
次のページへつづく

3 録音先のボタンを押す。

SDカードに録音する

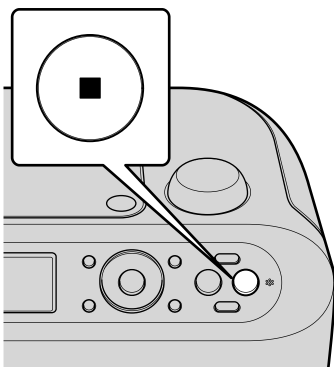


USB機器に録音する



録音をやめるには

■(停止)ボタンを押す。

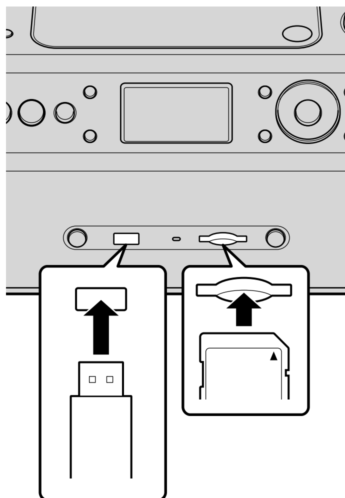


ご注意

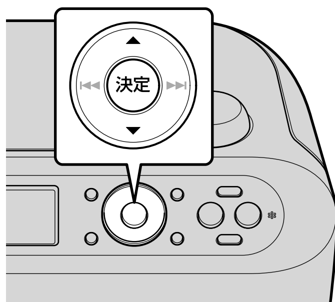
- 内蔵マイクの音声はスピーカーやヘッドホンから出力されません。
- ヘッドホン使用時に、ヘッドホンコードが本機に触れると、擦れ音として録音されてしまう場合があります。あらかじめコードを固定しておくことをおすすめします。
- マイク録音では、次のようなさまざまな音が雑音として録音されてしまうことがあります。
  - 本機に触れたときに入る音(タッチノイズ)
  - 振動音(床や机、ピアノなどに置いた場合)
  - エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音
  - 周囲の余計な音
- 録音される雑音を軽減するために、次のことをおすすめします。
  - 録音中に本体に触れると、擦れ音として録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにする。
  - 雑音の原因となっている音から遠ざけるか、その音を取り除く。
- 録音のときは、本機の内蔵マイクを発話者(録音対象)のほうへ向けて録音してください。

SDカード/USB機器のファイル、フォルダを削除する

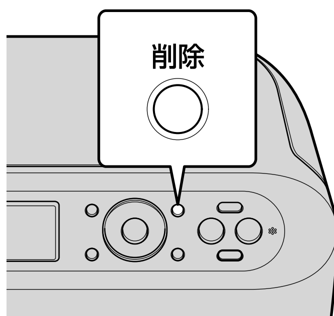
1 SDカードを入れる、またはUSB機器を差し込む。



2 削除したいファイル(またはフォルダ)になるまで、▲▼ボタンを押して、決定ボタンを押す。



3 削除ボタンを押し、削除選んで、決定ボタンを押す。



「1曲削除」の場合

削除したい曲になるまで▼▲を繰り返し押し、決定ボタンを押す。

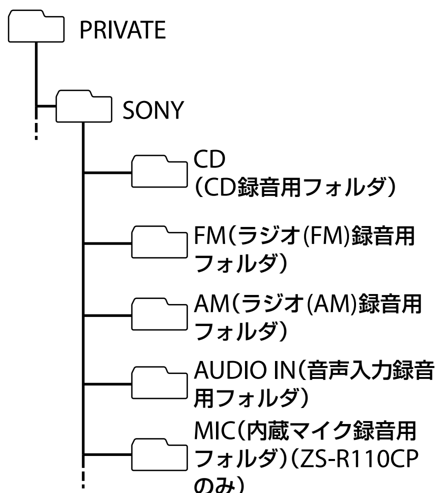
「全曲削除」の場合

1 SD/USBボタンを押して、SDまたはUSBに切り換える。
2 メニューボタンを押す。
3 「SD」(または「USB」)になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4 「全削除」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
「削除しました。」と表示されます。

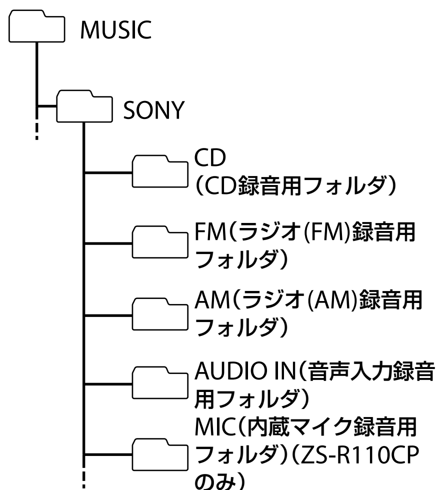
フォルダ・ファイル構成

本機で録音されたSDカード/USB機器上のフォルダ／ファイル構成は次の通りです。

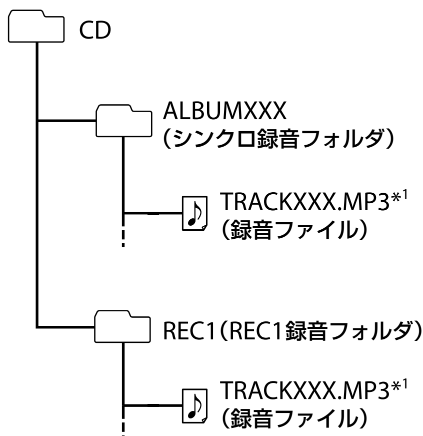
SDカードの場合



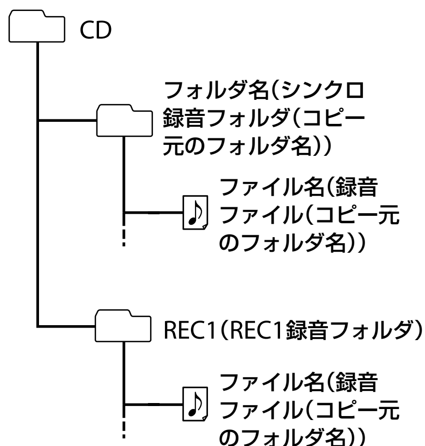
USB機器の場合



CD録音(音楽CD)の場合

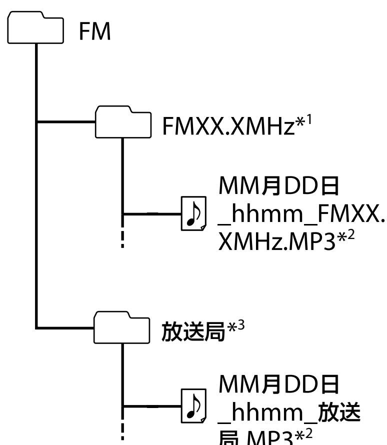


CD録音(データCD)の場合



*1 「XXX」は数字が入ります。(001 - 999)

ラジオ (FM) 録音用の場合

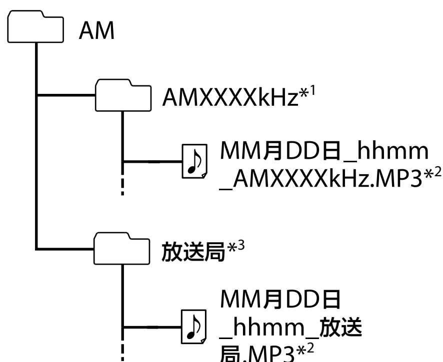


*1 「XX.X」は周波数が入ります。

*2 作成した月日と時間がファイル名になります。

*3 地域設定に周波数が登録されていた場合、放送局名がフォルダ名になります。

ラジオ (AM) 録音用の場合

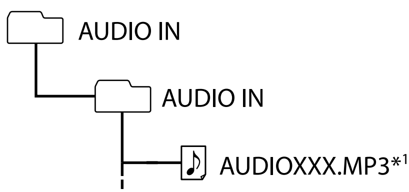


*1 「XX.X」は周波数が入ります。

*2 作成した月日と時間がファイル名になります。

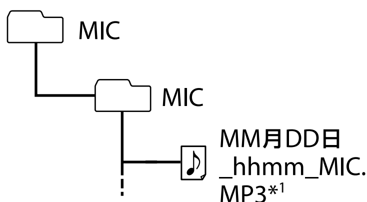
*3 地域設定に周波数が登録されていた場合、放送局名がフォルダ名になります。

音声入力録音用の場合



*1 「XXX」は数字が入ります。（001 - 999）

内蔵マイク録音用の場合(ZS-R110CPのみ)



*1 作成した月日と時間がファイル名になります。

録音する

音楽を聞きながら眠る（おやすみタイマー）

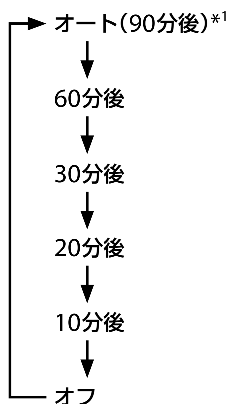
指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間はオート（90分後）、60分後、30分後、20分後、10分後、オフの中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

1 聞きたい音楽の再生を始める。

2 選びたい時間（分）になるまで、おやすみタイマーボタンを繰り返し押す。



ボタンを押すたびに、次の表示になります。



*1 CD、SDカード、USB機器の再生が終了すると、自動で電源が切れます。
再生が終了しない場合は、90分後に自動で電源が切れます。

おやすみタイマーを取り消すには

「オフ」になるまで、おやすみタイマーボタンを繰り返し押す。
または電源ボタンを押して、電源を切る。

ちょっと一言

- アラームとおやすみタイマー機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先にアラームを予約してから、電源を入れ、おやすみタイマー機能を働かせます。（59ページ）
- アラームとおやすみタイマー機能で違う音源を聞くことができます。
- アラームとおやすみタイマー機能で違う音量を設定できます。例えば小さな音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。
- おやすみタイマーが働いているときは、表示窓の明かりが暗くなります。

ご注意

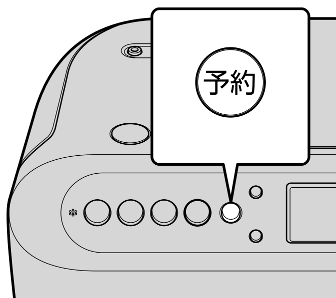
- おやすみタイマー動作中に録音を開始した場合、おやすみタイマーは解除されます。
- おやすみタイマー動作中に録音予約開始時刻となった場合、おやすみタイマーは解除されず、録音予約が始まります。

タイマーを使って目覚める

好きな音源を目覚まし代わりにすることができます。
設定する前に次の操作をしてください。

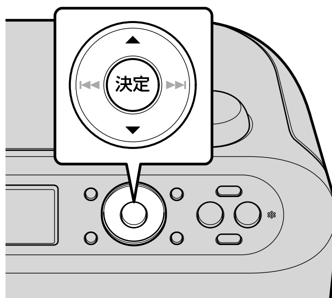
- 時計を合わせる。（20ページ）
- 目覚まし代わりにしたいラジオバンドの放送局をプリセット登録する。（33、34ページ）
  プリセット登録してない場合、ラジオを音源として設定できません。
- 聞きたいCDまたはSDカード、USB機器が入っていることを確認する。
  入っていない場合は、設定できません。

1 予約ボタンを押す。

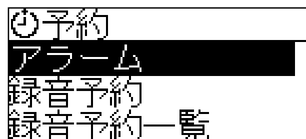


2 「アラーム」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

お買い上げ時（または1度もアラームを設定していないとき）は手順4の操作になります。



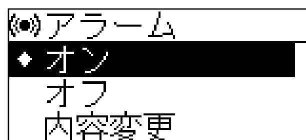
表示窓



3 「編集」で決定ボタンを押す。

4 「内容変更」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

表示窓



次のページへつづく

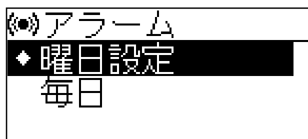
毎日の場合

「毎日」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

曜日を設定する場合

1 「曜日設定」になるまで、▼▲ボタンを押す。
2 ▼▲ボタンを押して、設定する曜日を選び、決定ボタンを押す。
選んだ曜日には、チェックが入ります。
3 複数の曜日の場合、手順2を繰り返す。
4 「次へ」を選び、決定ボタンを押す。

表示窓



5 再生を始める「時」になるまで、▼▲ボタンを繰り返し押して、決定ボタンを押す。

6 再生を始める「分」になるまで、▼▲ボタンを繰り返し押して、決定ボタンを押す。

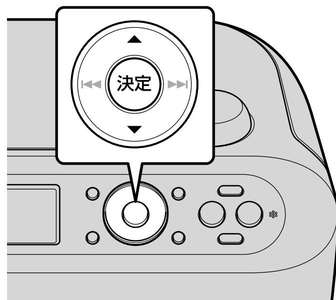
7 ▼▲ボタンを押して、設定したい音源を選び、決定ボタンを押す。

ブザーを設定した場合は、手順10の操作をする。

8 音量を変更する場合、▼▲ボタンを押して、音量値を選んで決定ボタンを押す。

音量を変更しない場合は、手順10の操作をする。

9 お好みの音量になるまで、▼▲ボタンを繰り返し押して、「次へ」を選び、決定ボタンを押す。



10 設定確認後、▼▲ボタンを押して、「完了」を選び、決定ボタンを押す。

アラーム(((●)))が点灯します。

アラームの内容を確かめるには

「タイマーを使って目覚める」の手順1の操作をおこない、⏮/⏭ボタンで画面を切り換える。

アラームの内容を変更するには

「タイマーを使って目覚める」の手順1-10の操作をおこなう。

アラーム動作中に、途中で止めるには

電源ボタンを押して、電源を切る。

アラームの待機状態を取り消すには

手順1、2を行い、「オフ」を選び、決定ボタンを押す。
アラーム(((●)))が消えます。

ご注意

- 大きな音量に驚かないように、音量を設定してください。
- アラームが動作したときに設定したCDまたはSDカード、USB機器がなかった場合、ブザーが鳴ります。
- ブザーの音量は設定できません。

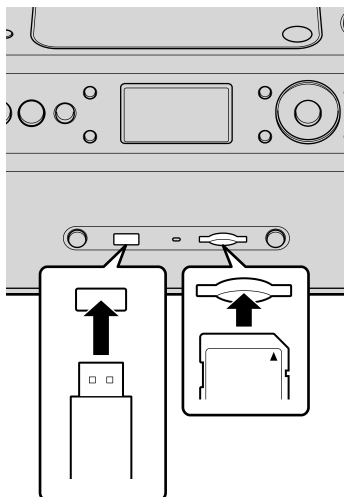
ちょっと一言

- 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。
- タイマー再生の音源を変えれます。
- アラームが作動する約1分前から、「準備中」と表示されます。
- アラームがオンで設定されているとき、アラーム(((●)))が点灯します。
- 予約した時刻になると(電源が自動で入り)、再生が始まります。60分間再生したあと、自動的に電源が切れます。

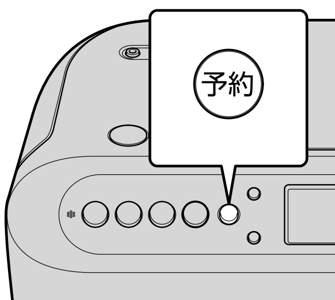
タイマー録音を使う

- 操作する前に時計を合わせてください（20ページ）。
- 録音したい放送局をあらかじめプリセット登録をしてください。（33、34ページ）

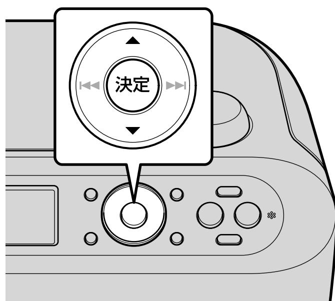
1 SDカードを入れる、またはUSB機器を差し込む。



2 予約ボタンを押す。



3 「録音予約」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。



4 録音先（SDカードまたはUSB機器）を選び、決定ボタンを押す。

5 予約の内容を選び、決定ボタンを押す。

曜日を設定する場合

1 「曜日設定」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

2 設定したい曜日になるまで▼または▲ボタンを繰り返し押し、決定ボタンを押す。

3 「次へ」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

「毎日」の場合

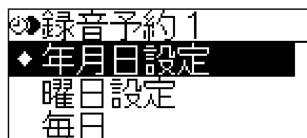
「毎日」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

年月日を設定する場合

1 「年月日設定」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

2 「時計を合わせる」の手順3から7を繰り返す。

表示窓



次のページへつづく

6 **設定したい開始／終了時間になるまで、▼▲ボタンを繰り返し押して、決定ボタンを押す。**

7 **録音したい音源（FMまたはAM）を選び、決定ボタンを押す。**

8 **録音したい放送局を選び、決定ボタンを押す。**

9 **設定確認後、▼▲ボタンを押して、「完了」を選び、決定ボタンを押す。**

⏲●（録音予約）が表示されます。
⏮/⏭ボタンで画面が切り換わります。

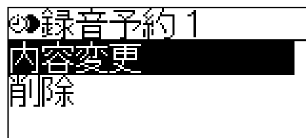
録音予約を確認するには

1 予約ボタンを押す。
2 「録音予約一覧」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 確認する録音予約になるまで、▼▲ボタンを押し、決定ボタンを押す。
4 ⏮ または⏭ボタンを押して、内容を確認する。

録音予約の内容を変更するには

1 予約ボタンを押す。
2 「録音予約一覧」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 変更する録音予約になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
4 「編集」で決定ボタンを押す。
5 「内容変更」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

表示窓



6 「タイマー録音を使う」の手順4から9を繰り返す。

録音予約を削除するには

1 予約ボタンを押す。
2 「録音予約一覧」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
3 削除する録音予約になるまで、▼▲ボタンを押し、決定ボタンを押す。
4 「編集」で決定ボタンを押す。
5 「削除」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。
6 「実行」になるまで、▼▲ボタンを押して、決定ボタンを押す。

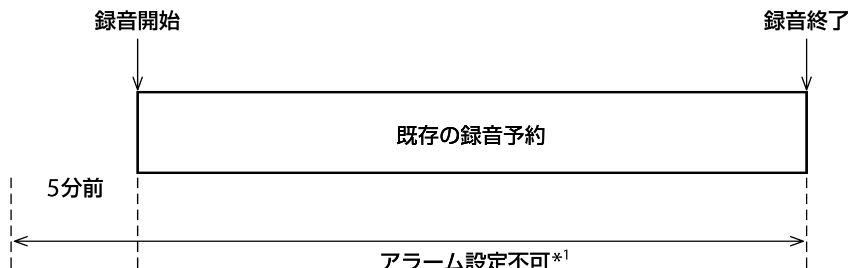
ご注意

- 時計用電池がないときに、電源コードを抜いたり停電になった場合、時計はお買い上げ時の設定になりますが、録音予約の内容は保持されます。再度時計を設定してください。
- 電源がオフの状態で予約録音が開始した場合、録音先のボタン（SD録音ボタンまたはUSB録音ボタン）のまわりは赤く点灯します。このとき、音声は出力されません。予約録音が終了すると、消灯します。
- 電源がオンの状態で予約録音開始時刻になった場合、予約録音が優先され、録音する放送局に切り換わります。予約録音が終了すると、引き続き録音した放送局を受信します。
- 録音予約をする場合、時刻がずれていないか確認してください。ずれている場合は、時計を設定してください。

タイマー／アラーム機能の使用上のご注意

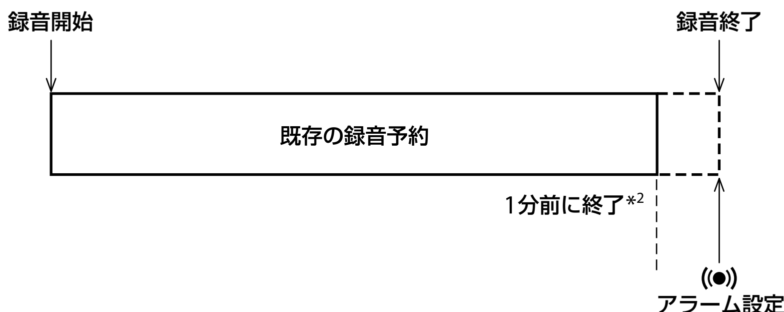
次の条件の場合、タイマー機能は設定通りの動作になりません。

既存の録音予約の（開始時刻の5分前）-（終了時刻）に重なるアラーム設定はできません。



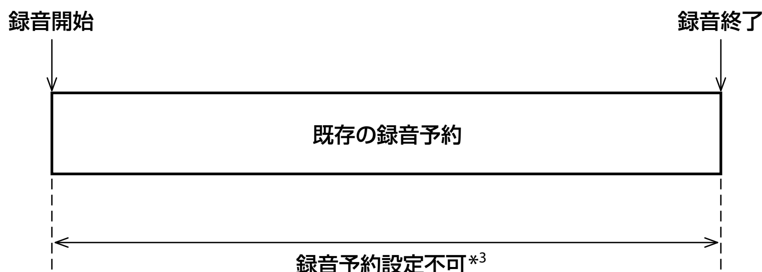
*1:「録音予約xxと重複しています。」と表示されます。（xxは録音予約の番号（1-10））

既存の録音予約の終了時刻にアラーム設定をすると、録音予約が早く終了します。



*2:「連続予約のため録音を約1分時刻の修正早く終了します。」と表示されます。

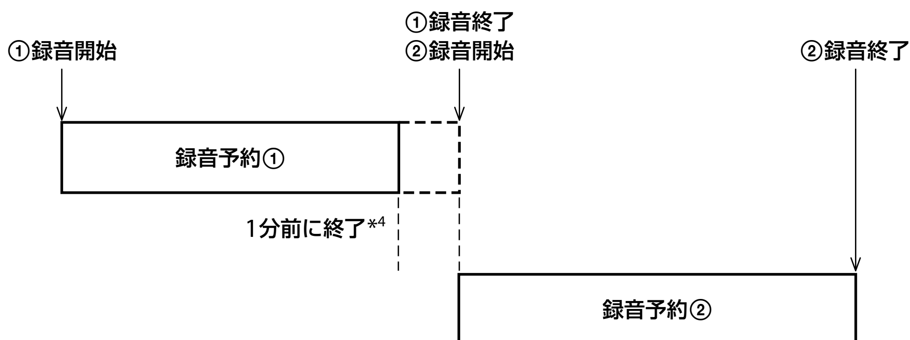
既存の録音予約の（開始時刻）-（終了時刻）に重なる録音予約設定はできません。



*3:「録音予約xxと重複しています。」と表示されます。（xxは録音予約の番号（1-10））

次のページへつづく

既存の録音予約と連続する録音予約設定をすると、先行する録音予約が早く終了します。



*4:「連続予約のため録音を約1分時刻の修正早く終了します。」と表示されます。

次の条件の録音予約設定は出来ません。

- 開始時間と終了時間が同じ時間だった場合
- 録音時間が1分間の時刻設定だった場合

故障かな？と思ったら

相談窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときはソニーの相談窓口へお問い合わせください。

共通

症状	チェック項目
電源が入らない。	• 電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。 • 時計用乾電池のみでは、本機は動作しません。電源コードを使う。（17ページ）
音が出ない。	• 表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。 • 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンをヘッドホン（🎧）端子から抜く。 • 聞きたい音源になっているか確認する。
雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 → 携帯電話などを本機から離して使用する。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。（ZS-R110CPのみ）	• 再生速度が調節されている。 → スピードコントロールリセットボタンを押すと、通常の速度で再生されます。または、スピードコントロール+、スピードコントロール－ボタンを押して、適切な再生速度に調節してください。（43、44ページ）

CD部

症状	チェック項目
再生が始まらない。	• CDぶたが閉まっていることを確認する。
CDが入っているのに「ディスクがありません。」が表示される。	• CDが裏返し。 → 文字のある面を上にする。 • CDの汚れがひどい。 → クリーニングする。（11ページ） • レンズに露（水滴）がついている。 → CDを取り出して、CDぶたを開けたまま1時間くらい置く。 • CD-R/CD-RWに再生可能なファイルが記録されていない。 • ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）がされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

次のページへつづく

音がとぶ。 雑音が入る。	● CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げる。 ● CDの汚れがひどい。 → クリーニングする。(11ページ) ● CDに傷がある。 → CDを取り換える。 ● 振動のない場所に置く。 ● CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。 ● 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。(10ページ)
CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。	● 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。

SDカード部/USB機器

症状	チェック項目
USB機器、SDカードが正常に動作しない。	● 対応機種以外のUSB機器やSDカードを使うと、次のような問題が発生するおそれがあります。 お使いの機種が対応機種か確認する。(74ページ) ● SDカードやUSB機器が本機に認識されない。 → SDカード／ USB機器を取り出し、接続し直す。 ● ファイル名やフォルダ名(アルバム名)が表示されない。 ● ファイルが再生されない。 ● 音飛びする。 ● ノイズが混じる。 ● 音が歪む。
録音できない。	● SDカードが書き込み禁止となっている。 → SDカード上のスイッチを解除方向へスライドさせる。 ● SDカード/USB機器の空き容量がない。 → 不要なファイル／フォルダを削除する。 → 新しいSDカード/USB機器を使用する。

ノイズ·音飛びが発生する、音が歪む。	● USB機器が本機にしっかり差し込まれているか確認する。本機の電源を切り、USB機器を接続し直す。 ● SDカードが本機にしっかり差し込まれているか確認する。本機の電源を切り、SDカードを接続し直す。 ● ファイルそのものにノイズや歪みの原因が混入している可能性があります。ノイズは、エンコードの過程で混入する場合もあります。このようなときは、データを新たに作り直す。 ● 音量が大きすぎる。音量を調節する。
録音停止後に、アクセスランプが点滅している。	● 未書き込みのデータの書き込みを行っているため、点滅の終わるまで待つ。
録音したファイルの録音時間が短い。	● 録音を停止するときは、■(停止)ボタンを押す。
USB機器、SDカードのファイルを再生できない。	● 本機が対応するファイルシステム*1でフォーマットされていない。 ● お使いのUSB機器がパーティションで分割されている。パーティションでUSB機器を分割しているときは、最初のパーティションのみが再生対象となります。 ● ファイル名の拡張子が間違っているか、付いていない。本機が対応する拡張子は、次のとおりです。 → MP3ファイル:「.mp3」 → WMAファイル:「.wma」 → AACファイル:「.m4a」、「.mp4」、「.3gp」 ● フォーマットが適切でない。本機が対応するフォーマットは、次のとおりです。 → オーディオファイル:MP3/WMA/AAC形式 ● WMAファイルが、WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されている。本機は、これらの形式に対応していません。 ● 著作権保護付きのAACファイル、AAC Lossless形式のAACファイルは本機では再生できません。 ● 音声以外を含むAACファイル、複数の音声トラックを含むAACファイルは本機では再生できません。 ● 本機が認識可能な最大階層(フォルダレベル)を超えている。(8階層まで認識可能) ● SDカード、USB機器に記録されているフォルダ数が255を超えている。 ● フォルダあたりのファイル数が999を超えている。 ● パスワードでプロテクトされたファイル、暗号化によって保護されたファイルは再生できません。 *1 本機が対応するファイルシステムは、「FAT16」と「FAT32」のみです。SDカード、USB機器の中には、他のFAT形式でフォーマットされたものがありますのでご注意ください。詳しくは、USB機器に付属の取扱説明書で確認するか、SDカード、USB機器のお買い上げ店、またはメーカーにご相談ください。

ラジオ部

症状	チェック項目
ラジオが受信できない。	• 地域設定が間違っていないか確認する。(19ページ) • 置き場所を変えてみる。 • アンテナの向きを変えてみる。
AMラジオが受信できない。	• 内蔵/外部 AMアンテナ切換スイッチが「外部」になっている。 • AMループアンテナをつないでいない場合は、AMアンテナ切換スイッチを「内蔵」にする。
FMラジオが受信できない。	• ロッドアンテナが引き出されていない。
ラジオ受信中、音声が小さい、または音質がよくない。	• 建物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。 • テレビから離す。
ラジオ受信中、雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 • 携帯電話などを本機から離して使用する。
FMラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。	• 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオを受信している場合は、テレビから離す。
プリセット番号を選んでも、聞きたい放送局が受信できない。	• 正しいプリセット番号を選んでいない。 • 正しい放送局のプリセット番号を選ぶ。 • 正しい地域を選んでいない。 • 「地域設定」で現在ラジオを使っている地域を設定する。(19ページ)
録音したファイルに雑音が入る。	• 録音中に、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入る場合があります。 • FM放送を録音するとき、受信状態および接続されるUSB機器によっては、雑音が生じる場合があります。 雑音が生じた場合、SDカードで録音をしてください。

タイマー(時計)部

症状	チェック項目
アラームが働かない。	• 時計を正しい時刻に合わせる。(20ページ) • 電源コードで使用中、停電があった。 • ((●)) が出ていることを確認する。 • 再生できないファイルを音源に指定した。

症状	チェック項目
予約録音が作動しない。	• 時計が設定されていない。 • 録音予約開始時刻に電源が入っていないときは、表示画面に何も表示されませんが、録音は実行しています。

リモコン部（ZS-R110CPのみ）

症状	チェック項目
リモコンの操作ができない。	• リモコンと本体の間の障害物を取り除く。 • 本体に近づいて操作する。 • リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作する。 • リモコンの電池が消耗している可能性があります。新しい電池と交換する。 • リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

上記以外で動作が正常でないときは、電源コードをはずし、時計用乾電池を取り出し、表示窓の表示が消えてから、再度時計用乾電池を入れ、電源コードを差し込んでください。（17ページ）正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

地域設定表

選択できる地域

地域設定で選べる地域は、次の54地域です。

地方	地域						
北海道	札幌	函館	旭川	帯広	釧路	北見	室蘭
東北地方	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
関東地方	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川
中部地方	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜
	静岡	愛知					
近畿地方	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
中国	鳥取	島根	岡山	広島	山口		
四国	徳島	香川	愛媛	高知			
九州・沖縄地方	福岡	北九州	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎
	鹿児島	沖縄					

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品登録のおすすめ
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

パソコンから
http://www.sony.co.jp/radio-regi/



携帯電話から
2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。
http://reg.msc.m.sony.jp/radio/

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz - 20,000 Hz ＋1/－2 dB

ラジオ部

受信周波数	FM: 76 MHz - 90 MHz AM: 531 kHz - 1,710 kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ（内蔵） ループアンテナ（付属）

USB/SD部

対応ビットレート	MP3（MPEG 1 AUDIO Layer-3） 32 kbps - 320 kbps, VBR WMA 48 kbps - 192 kbps, VBR AAC (MPEG4-AAC-LC Layer-3） 16 kbps - 320 kbps, VBR
サンプリング周波数	MP3（MPEG 1 AUDIO Layer-3） 32/44.1/48 kHz WMA 8/11.025/16/22.05/32/44.1/48 AAC (MPEG4-AAC-LC) 8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

共通部

スピーカー	フルレンジ: 8 cm、コーン型6 Ω、2個
入力端子	ステレオミニジャック1個 USBタイプA（Full-speed USB） SDカードスロット
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16 Ω - 68 Ω
実用最大出力	1.5 W ＋ 1.5 W (JEITA*1/6 Ω）
電源	本体用： 家庭用電源 （AC100 V 50/60 Hz） 時計用： 単3形乾電池3個使用 （DC 4.5 V）（別売）
消費電力	13 W 約0.9 W（電源OFF）
最大外形寸法	約349.4 mm × 148.9 mm × 214 mm （幅 × 高さ × 奥行き） （最大突起部含む）（JEITA）
質量	本体　約2.7 kg ご使用時　約2.8 kg （乾電池含む）
付属品	ZS-R110CP リモコン（1） リモコン用単4形乾電池（2） **共通** 電源コード（1）*2 AMループアンテナ（1） 取扱説明書・保証書（1） 周波数一覧表（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

*2 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ、ナ行

ハ行

マ、ヤ行

ラ、ワ行

本機で使用できる機器（2011年10月現在）

対象機器	対象モデル	
“ウォークマン”	NWD-	W253 W263
	NW-	E052/E053 S754/S755/S756 A855/A856/A857 S764/765/766 A865/866/867
ICレコーダー	ICD-	UX512/UX513F UX200/UX300F/UX400F SX713/SX813 SX850/SX950 AX412F
	PCM-	D1/D50/M10
	ICZ-	R50
SDカード	SD SDHC microSD*1 microSDHC*1	Sony/東芝/ Panasonic/SanDisk
POCKET BIT	USM-	Mシリーズ Lシリーズ LXシリーズ

*1 SD変換アダプター使用時

ご注意

- 再生可能なフォーマットはMP3/WMA/AAC形式です。
- “ウォークマン”と本機をUSBポートで接続した場合、次の楽曲は再生できません。
  - x-アプリで“ウォークマン”に転送された楽曲
  - ATRAC形式の楽曲
  - ダイレクトエンコーディング機能で“ウォークマン”に録音した楽曲
  - 著作権保護付きの楽曲
- ICレコーダーと本機をUSBポートで接続した場合、次の楽曲は再生できません。
  - リニアPCM形式の楽曲

対応機種についての最新の情報は次のURLでご確認ください。
http://www.sony.jp/support/radio/index.html

商標

- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- SD、SDHC、microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLC. の商標です。
- Windows Media は米国および／またはその他の国における米国MicrosoftCorporationの登録商標または商標です。
- Windows Media is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft.
  Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

品　名　**パーソナルオーディオシステム**

型　名　ZS-R110CP/ZS-R100CP

保証書　T02-1

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

◀「お問い合わせ窓口のご案内」については、71ページをご覧ください。

ソニー株式会社
〒108-0075
東京都港区港南1-7-1

Printed in China



* 4 4 0 0 6 9 8 0 4 * (1)